

**ユニットバス**

**取扱説明書**

\*ご使用前に必ずお読みください

**AIR WATER INC.**

## ご愛用の皆様へ

- このたびは当社商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- ユニットバスを正しくお使いいただくために、ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、保証書とともに必ず保管してください。
- 転居される場合は、新しく入居される方が製品を安全にお使いいただくために、この取扱説明書を、新しく入居される方または取次ぎされる方にお渡しください。



# 目次

●安全上のご注意……………P1～P6

**A**  
安全上の  
ご注意

●各部の名称……………P7

**B**  
各部の  
名称

●お取り扱いについての注意とお願い……………P8

C-1 床(洗い場)について……………P8～P9

C-2 浴槽について……………P10～P14

C-3 壁・天井について……………P15～P16

C-4 混合水栓について……………P17～P22

C-5 ドアについて……………P23～P24

C-6 排水関係について……………P25～P26

C-7 風呂フタについて……………P27

C-8 タオル掛けについて……………P28

C-9 照明器具について……………P28～P29

C-10 換気について……………P29～P30

C-11 その他……………P30

C-12 洗面台について……………P31～P32

C-13 トイレについて……………P33～P34

**C**  
お取り扱い  
についての  
注意と  
お願い

●お手入れ方法とご注意……………P35

D-1 浴槽・床のお手入れについて……………P36

D-2 目地のお手入れについて……………P37

D-3 壁・天井・ドアのお手入れについて……………P38

D-4 水栓・カガミ類のお手入れについて……………P38

D-5 照明の交換について……………P39～P40

D-6 排水栓の交換について……………P41

D-7 洗面台のお手入れについて……………P42

D-8 トイレのお手入れについて……………P43

**D**  
お手入れ  
方法と  
ご注意

●アフターサービスについて……………P44

E-1 アフターサービスのお問い合わせ……………P44

E-2 定期点検のおすすめ……………P44

**E**



# 安全上のご注意

A  
安全上の  
ご注意








(必ずお守りください)

この安全上の注意をよくお読みの上、正しくお使いください。

- ◎ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。  
=安全に関する重要な事項ですので、必ず守ってください。=
- ◎表示マークについて  
誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、 気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
	この絵表示は、 してはいけない「禁止」の内容です。
	この絵表示は、 必ず実行していただく「強制」の内容です。
	この絵表示は、 感電の可能性がある「感電注意」の内容 です。
	この絵表示は、 高温による傷害の可能性がある「高温注 意」の内容です。
	この絵表示は、 機器の特定の場所に触れることによって 傷害が起こる可能性がある「接触禁止」 の内容です。
	この絵表示は、 特定される条件において火が着いてしま う可能性がある「発火注意」の内容で す。

製品を安全に正しくお使いいただくため、

さまざまな絵表示をしています。

ご使用になるお客様や他の人々への危害や、

財産への損害を未然に防止するために、

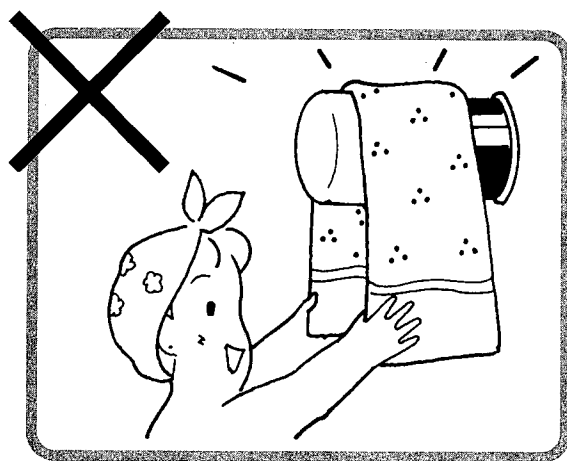
内容をよく理解して充分ご注意ください。

 **警告**



発火  
注意

照明器具にタオルなどを、  
掛けないでください。  
過熱して、火災になるおそ  
れがあります。

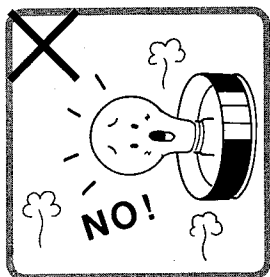


# 警告

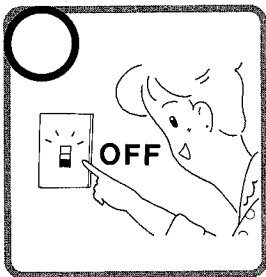
A  
安全上の  
ご注意



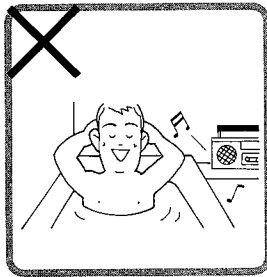
照明器具のカバーをはずして使わないでください。感電したり、電球が割れてケガをするおそれがあります。



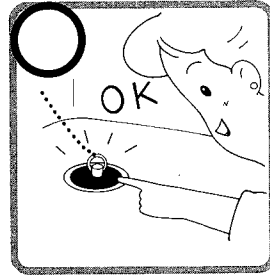
照明・換気扇のお手入れの場合は、必ず電源を切ってから行なってください。感電やケガをするおそれがあります。



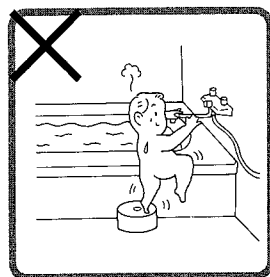
浴室内に電気製品を持ち込まないでください。感電のおそれがあります。



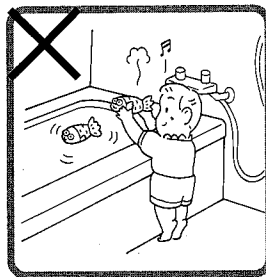
排水栓を手できちんと排水口に押し込んでください。自然循環式風呂釜をご使用の場合、空焚きとなり、火災のおそれがあります。



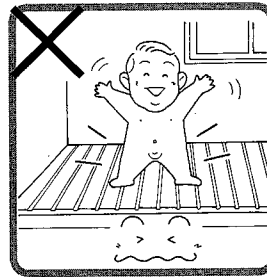
幼児や身体の不自由な方を、一人で入浴させないでください。浴槽でおぼれたり、ケガやヤケドをするおそれがあります。



浴室内で幼児だけを遊ばせないでください。浴槽でおぼれたり、ヤケドをするおそれがあります。



風呂フタの上に体重をかけたり、乗ったりしないでください。フタがはずれたりして、ケガやヤケドをするおそれがあります。



付帯設備は、それぞれの商品に添付されている取扱説明書、及び本体の注意表示にそってお使いください。誤った使い方をすると、思わぬ事故や故障の原因となります。



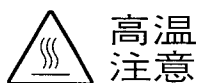
# ⚠ 注意



入浴前に必ず湯温を、確認してください。ヤケドをするおそれがあります。



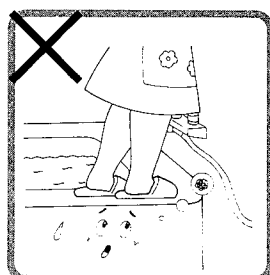
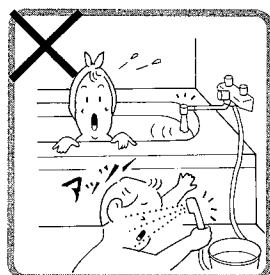
水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。



サーモ混合栓以外でシャワーをお使いの時は、他の水栓を使わないでください。湯温が急上昇して、ヤケドをするおそれがあります。



浴槽のふちや、カウンターなどには、絶対に乗らないでください。足をすべらせて、ケガをするおそれがあります。



タオル掛けなどに、ぶらさがったり、強く引っ張ったりしないでください。転倒などにより、ケガをするおそれがあります。



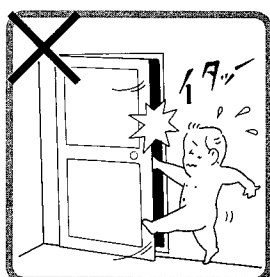
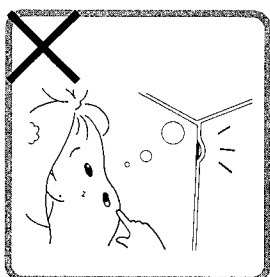
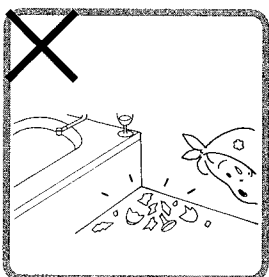
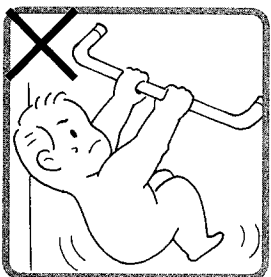
浴室内にガラス製品など割れやすいものを、持ち込まないでください。割れて、ケガをするおそれがあります。



目地(コーキング)が切れたり、浮いたまま使用しないでください。水もれのおそれがあります。



ドアの急激な開閉はしないでください。手や足をはさまれて、ケガをするおそれがあります。

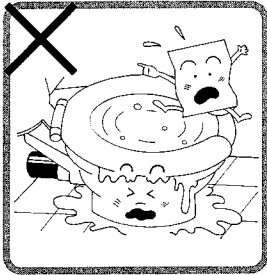


# ⚠ 注意

**A**  
安全上の  
ご注意

## ⊘ 禁止

トイレ付ユニットの場合、便器にはトイレトーパー以外は流さないでください。排水がつまり汚水があふれ、家財などを汚すおそれがあります。



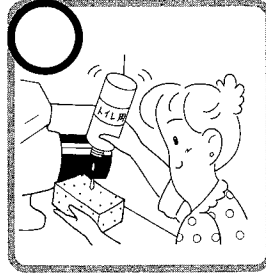
## ⊘ 禁止

ハンドル操作の急閉止は、おやめください。配管から水もれを起こし、家財などをぬらすおそれがあります。



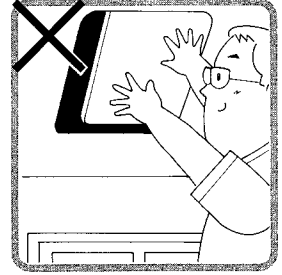
## ⊘ 禁止

トイレ付ユニットの場合、トイレ用洗剤は便器（陶器部分）以外には使用しないでください。他の部分に使用すると、不具合を生じるおそれがあります。



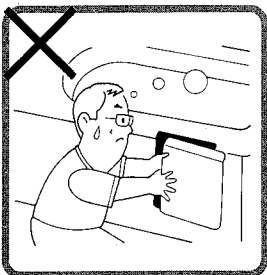
## ⊘ 禁止

天井点検口のフタは設備点検時以外は、絶対に開けないでください。フタはずれ、落下してケガをしたり、湯気もまれて建物に影響を与えるおそれがあります。



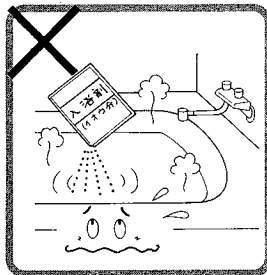
## ⊘ 禁止

浴室の点検口は設備点検時以外は、絶対に開けないでください。水もれのおそれがあります。



## ⊘ 禁止

イオウ分の入った入浴剤は使用しないでください。配管部などを傷め、水もれのおそれがあります。



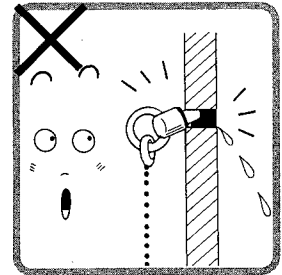
## ⊘ 禁止

排水口にシンナーなどの溶剤や薬品類を流さないでください。水もれのおそれがあります。



## ⊘ 禁止

浴槽排水クサリ止め金具を無理に回したりしないでください。取付け部がゆるむと、水もれます。





# ⚠ 注意

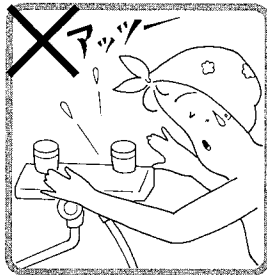
## ⊘ 禁止

浴槽に無理な力をかけないでください。  
ヒビが入って、水がもれる  
おそれがあります。



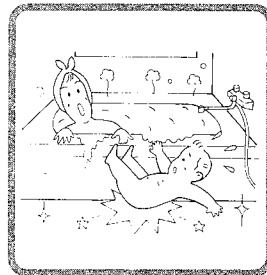
## ⊘ 接触禁止

出湯時や止水直後は、金  
属部に触れないでくださ  
い。ヤケドをするおそれ  
があります。



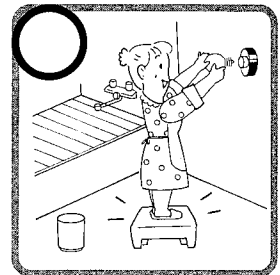
## ! 強制

浴室内は、石けん液など  
ですべりやすくなっていま  
すから、気をつけてくださ  
い。ころんで、ケガをする  
おそれがあります。



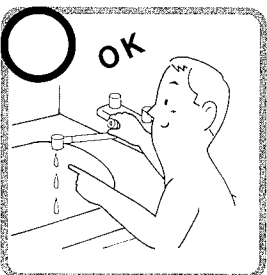
## ! 強制

電球の交換や換気扇の  
掃除をする時は、必ず安  
定した踏み台をお使いく  
ださい。バランスをくずし  
て転倒し、ケガをするお  
それがあります。



## ! 強制

凍結が予想される時は  
水抜きをしてください。凍  
結破損で水もれし、家財  
などをめらすおそれあり  
ます。



## ! 強制

掃除をする時は、必ず浴  
室用中性洗剤を容器に  
表示されている注意書き  
にしたがい正しくお使い  
ください。使い方を誤ると、  
人体に影響が出たり、本  
体に不具合を生じるおそ  
れがあります。



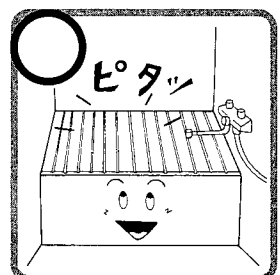
## ! 強制

商品引き渡し後、器具の  
位置を変えたり、新しい  
器具を取付ける場合は、  
必ず販売店などにご相談  
ください。誤った取付けを  
すると、思わぬ事故や水  
もれの原因となります。



## ! 強制

風呂フタは、必ず浴槽に  
合ったものをお使いくだ  
さい。フタがはずれたりし  
て、ケガやヤケドをするお  
それがあります。



# 各部の名称

## (代表例)

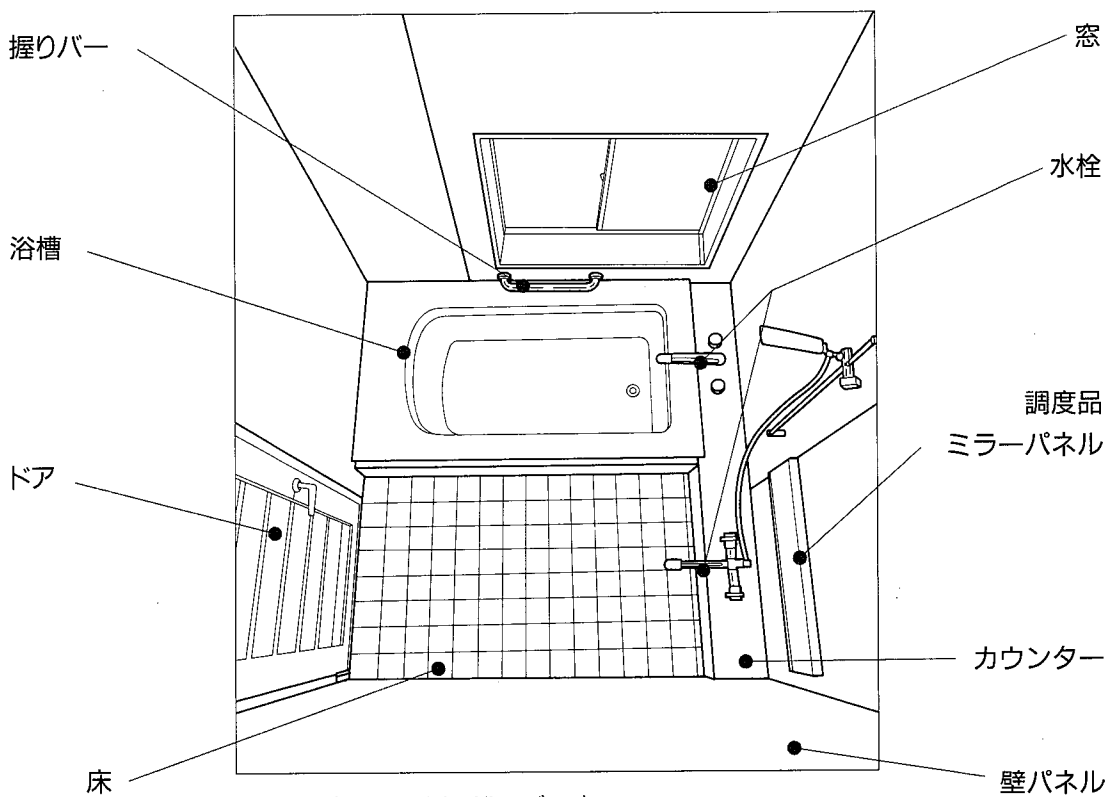
●LBUシリーズ(分割型)

B

各部の  
名称

天井(照明付)

・換気扇



※イラストはLBUシリーズです。

※ご使用いただくユニットバスは、サイズ、壁の種類により、イラストと異なる場合があります。

# お取扱いについての注意とお願い

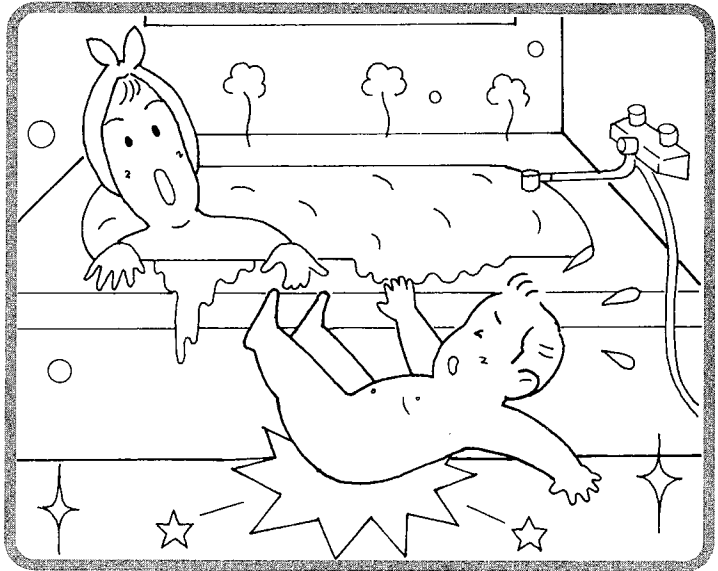
## c-1 床(洗い場)について

床(洗い場)は、すべりやすくなっていますので十分に注意してください。  
衝撃・火気・サビ・腐食・変色等を防ぐために説明をよくお読みください。

⚠ 注意

❗ 強制

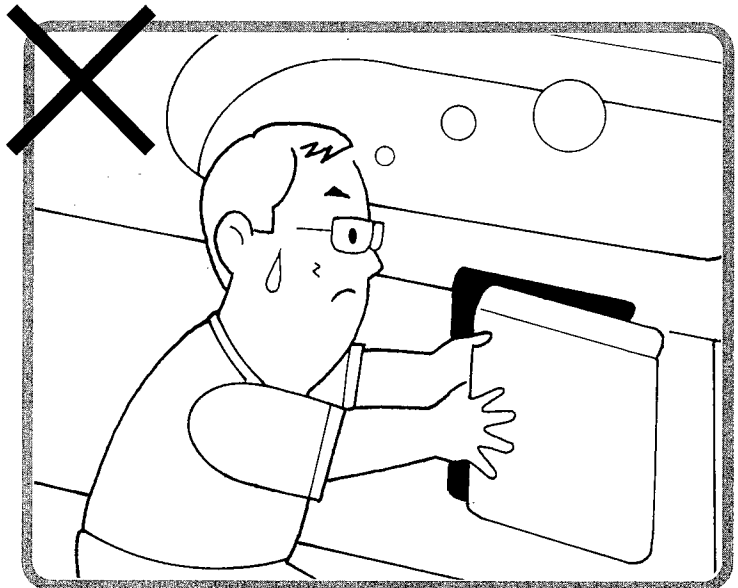
浴室内は、石けん液などですべりやすくなっていますから、気をつけてください。ころんで、ケガをするおそれがあります。



⚠ 注意

⊘ 禁止

浴室の点検口は設備点検時以外は、絶対に開けないでください。  
水もれのおそれがあります。

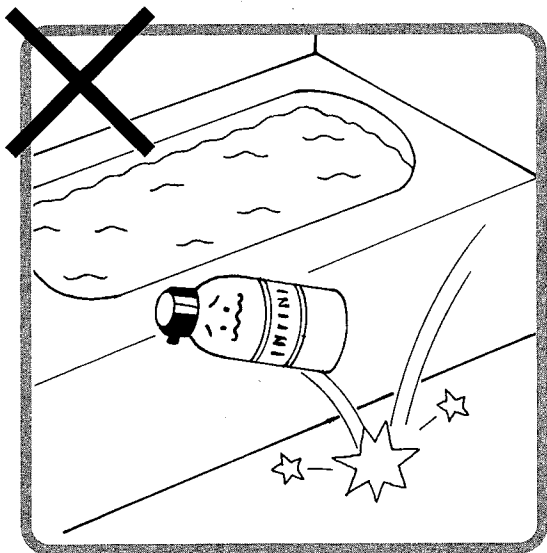


C

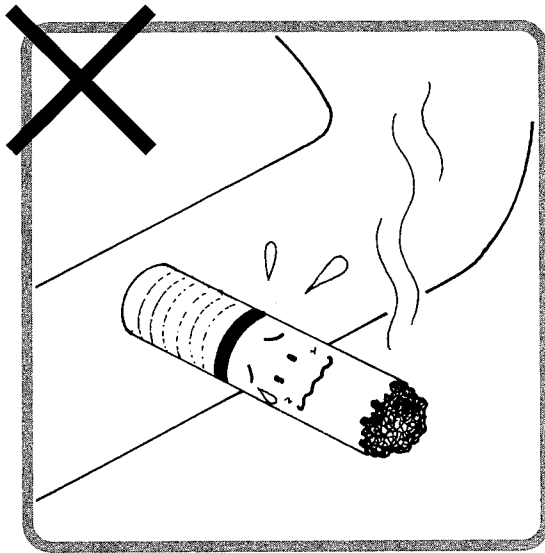
お風呂の掃除の仕方

## c-1 床(洗い場)について

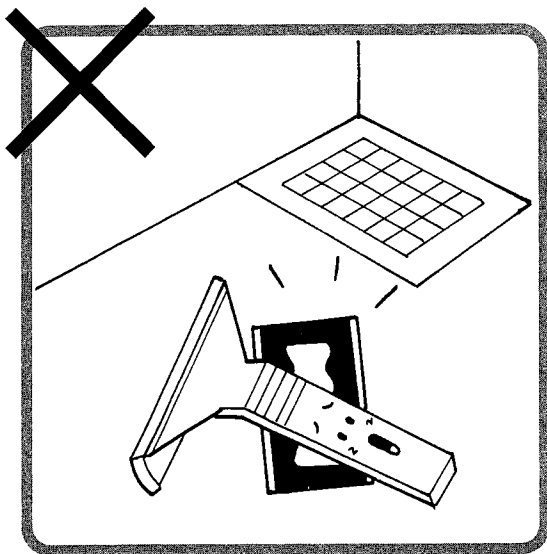
重いものを落としたり、硬いものでたたいたり、こすったりしないでください。  
\* 床にクラックが発生したり、破損の原因となります。



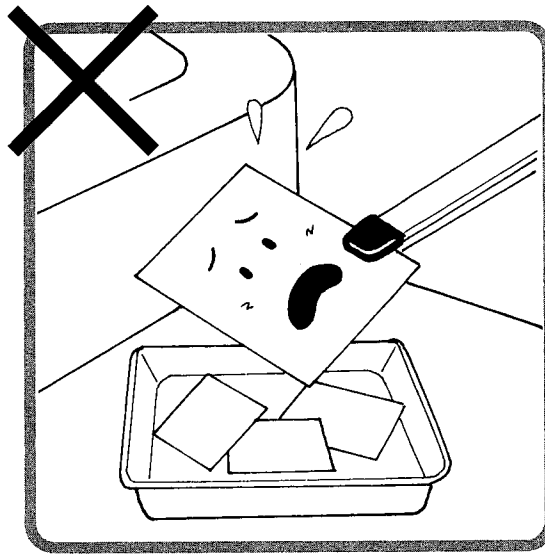
タバコなどの火気は、絶対に近づけないでください。  
\* 変色したり、床の寿命を縮める原因となります。



ヘアピン、カミソリ刃などを置いたままにしないでください。  
\* サビが付着して取れなくなる場合があります。



洗い場での写真の現像や、毛染めはしないでください。  
\* 変色や腐食の原因となります。



# c-2 浴槽について

浴槽で、おぼれたり、ケガやヤケドをしないよう十分に注意してください。  
空焚きや、沸かし過ぎ、浴槽を傷めないために説明をよくお読みください。

## ■循環温水器(24時間風呂)について

浴槽の劣化が早まる可能性があります。当社のユニットバスへのご利用はおすすめしておりません。



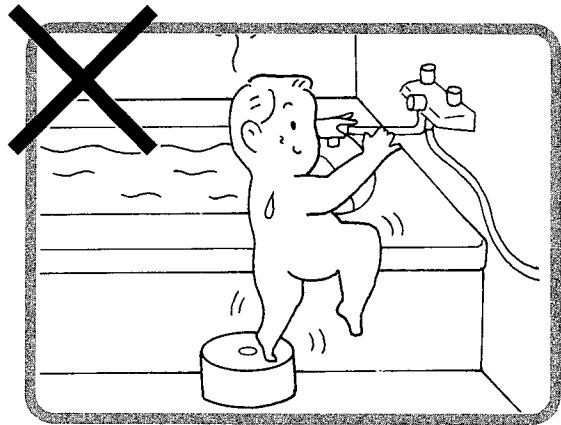
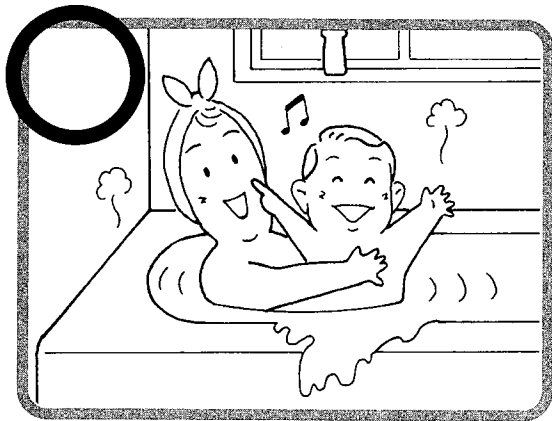
**警告**

幼児や身体の不自由な人を、一人で入浴させないでください。

浴槽でおぼれたり、ケガやヤケドをするおそれがあります。



**禁止**

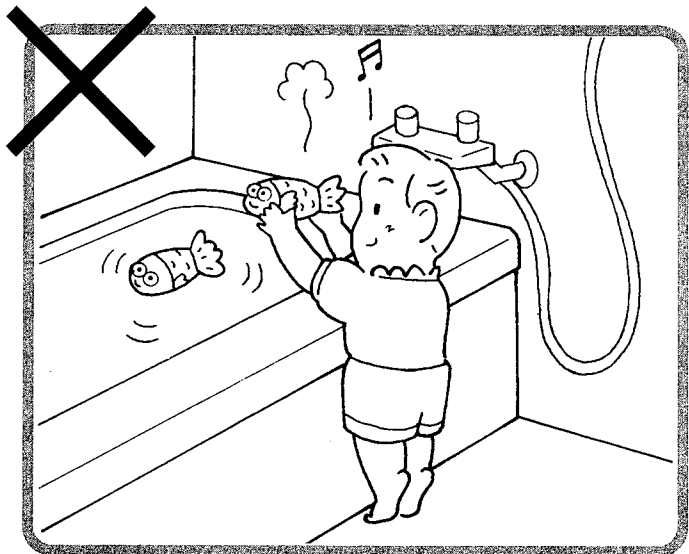


**警告**



**禁止**

浴室内で幼児だけを遊ばせないでください。浴槽でおぼれたり、ヤケドをするおそれがあります。



C

お風呂での正しいお風呂の入り方

# C-2

## 浴槽について



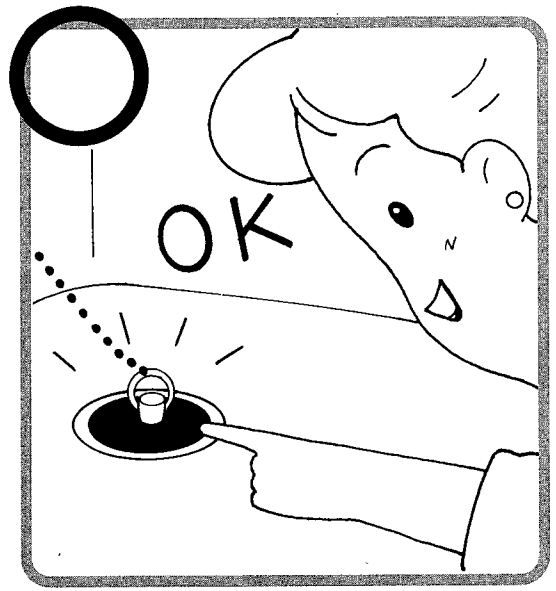
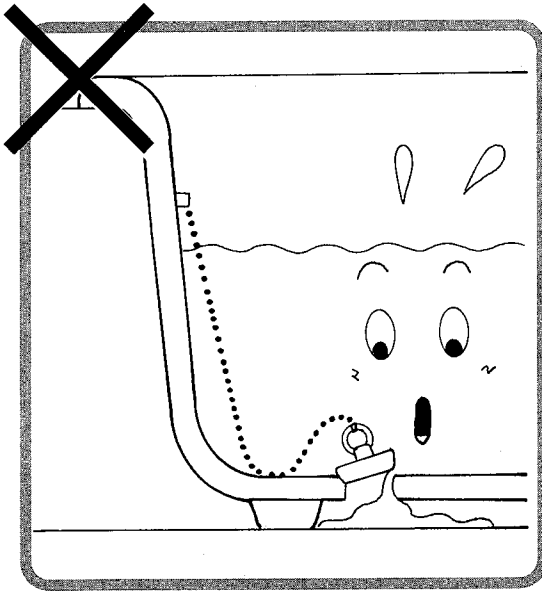
**警告**

排水栓を手できちんと排水口に押し込んでください。

自然循環式風呂釜をご使用の場合、空焚きとなり、火災のおそれがあります。

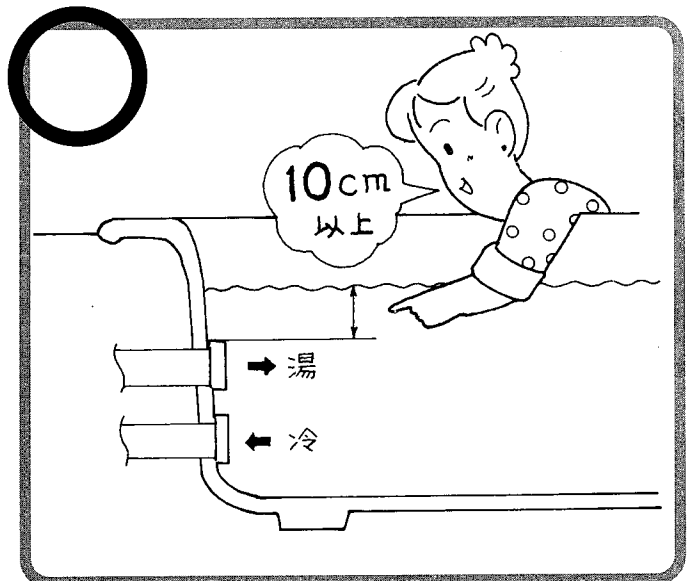



**発火  
注意**





空焚きをしないでください。水位が循環パイプより10cm以上になるまで水を張ってください。


\* 循環パイプ以下の場合、空焚きの原因となり、浴槽や釜を傷めるだけでなく、大変危険です。

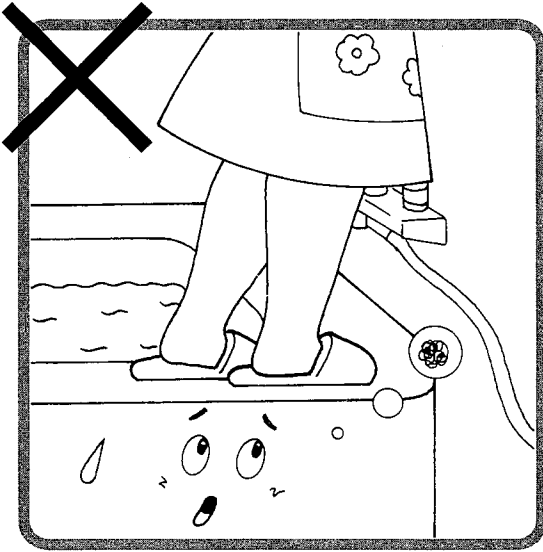


 **注意** 浴槽のふちや、カウンターなどには、絶対に乗らないでください。

 **禁止** 足をすべらせて、ケガをするおそれがあります。

 **注意** 入浴前に必ず湯温を、確認してください。

 **高温注意** ヤケドをするおそれがあります。

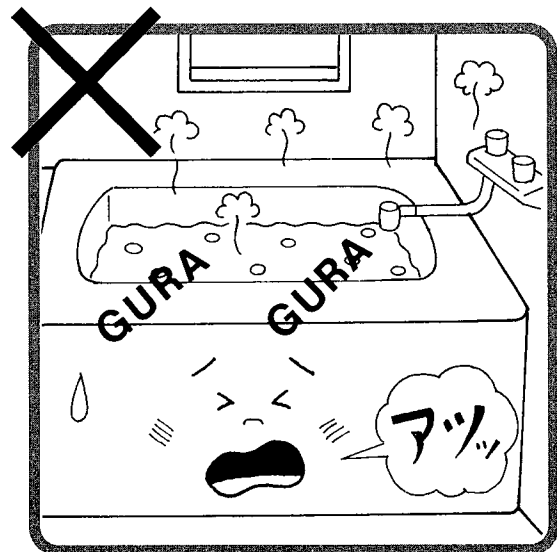
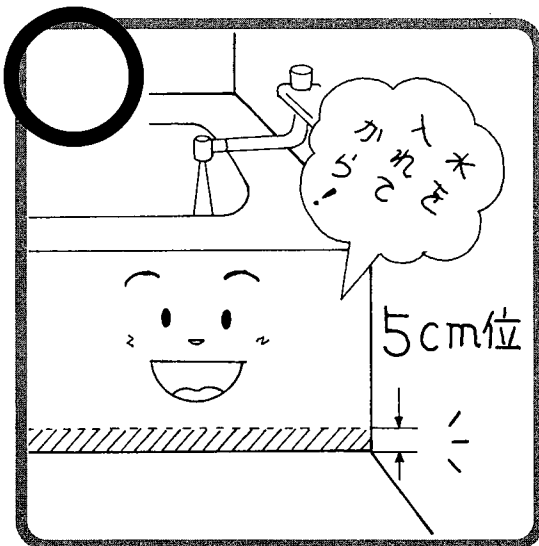


熱湯を直接入れないでください。

\* 傷めたり、変色などの原因となります。

沸かし過ぎないようにしてください。

\* 沸かし過ぎを繰り返すと、浴槽ばかりでなく、釜も傷め、寿命を短くする原因となります。



## C-2 浴槽について



**注意**

イオウ分の入った入浴剤は使用しないでください。

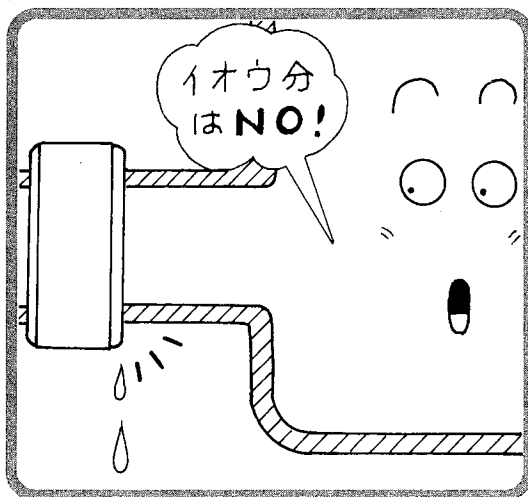
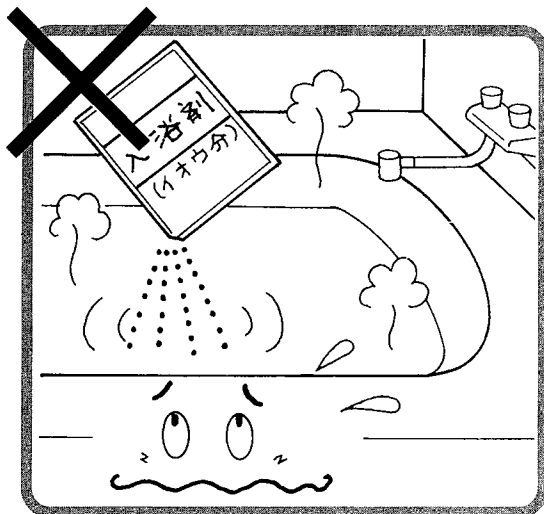
配管部などを傷め、水もれのおそれがあります。

\* 浴槽や洗い場を変色させることがあります。



**禁止**

\* 水栓、シャワー金具などの金属メッキ部分を傷めることがあります。



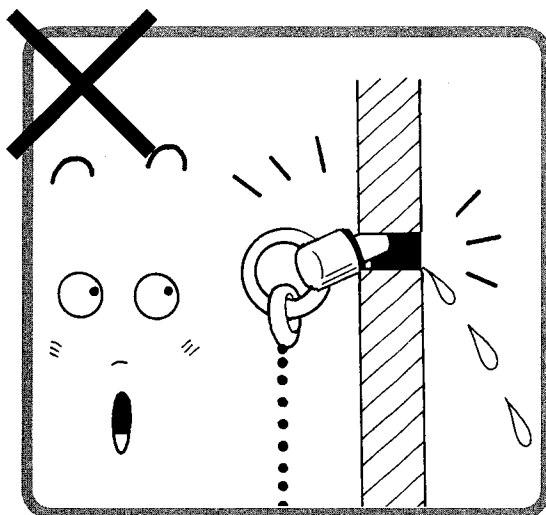
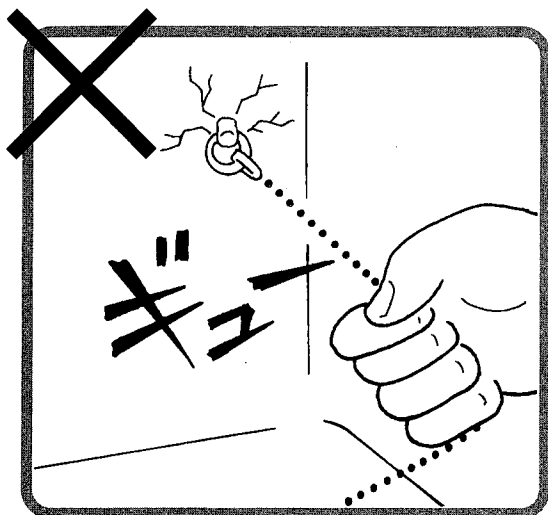
**注意**

浴槽排水クサリ止め金具を無理に回したりしないでください。

取付け部がゆるむと、水もれします。



**禁止**





⚠ 注意

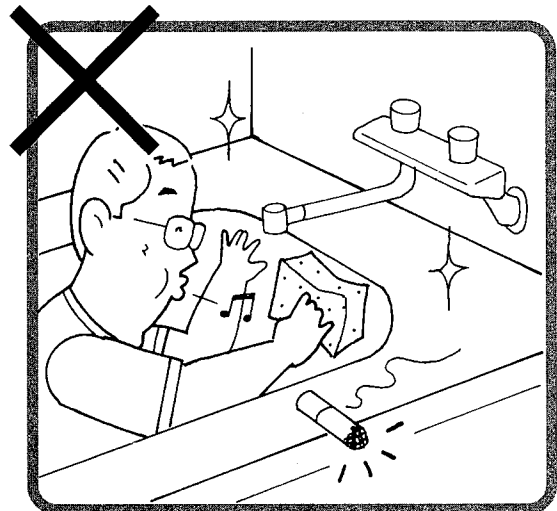
🚫 禁止

浴槽に無理な力をかけないでください。  
ヒビが入って、水がもれるおそれがあります。



重いものを落としたり、硬いものでたたいたり、こすったりしないでください。  
\* 浴槽にクラックが発生したり、破損の原因となります。

タバコなどの火気は、絶対に近づけないでください。  
\* 破損や変色の原因となります。



© 2014 株式会社パナソニック

# c-3

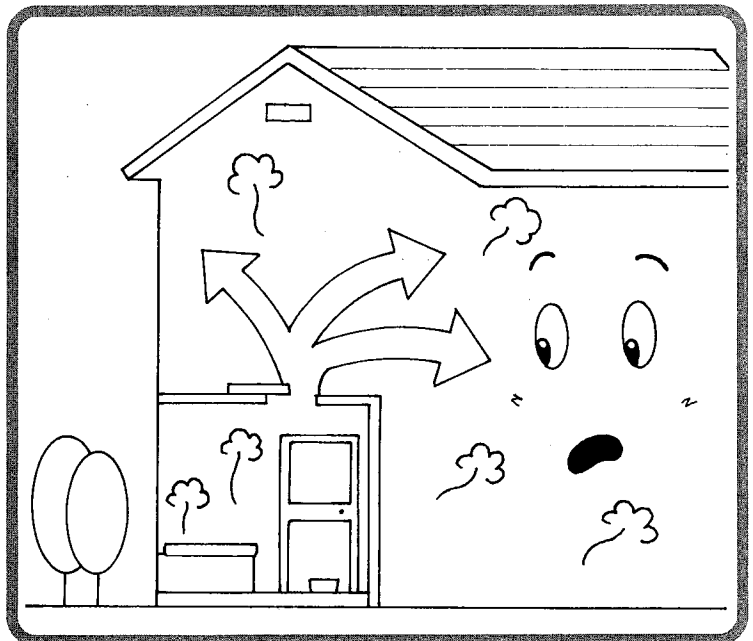
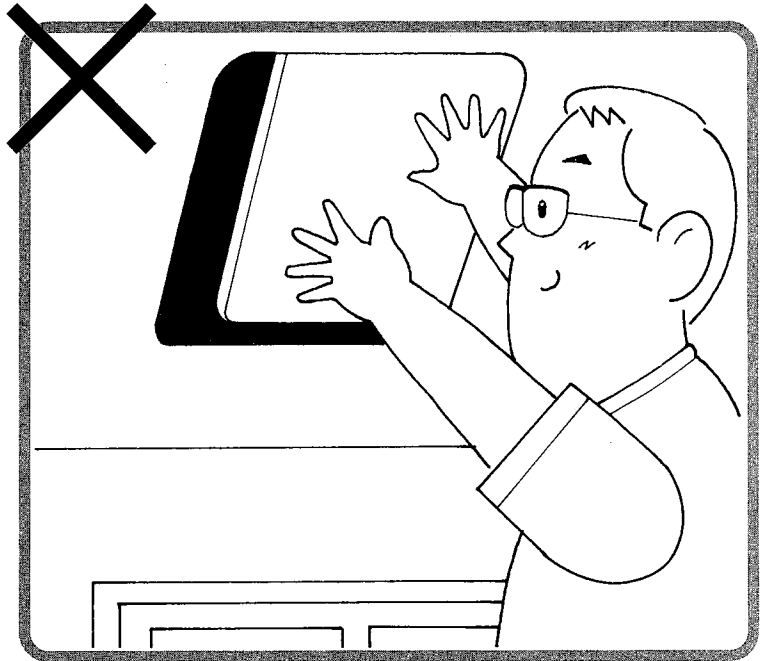
## 壁・天井について

天井点検口のフタは設備点検時以外は、絶対に開けないでください。  
傷、サビの発生、破損・変色、水もれを防ぐために説明をよくお読みください。

⚠ 注意

🚫 禁止

天井点検口のフタは設備点検時以外は、絶対に開けないでください。  
フタがはずれ、落下してケガをしたり、湯気がもれて建物に影響を与えるおそれがあります。



硬いものでたたいたり、こすったりしないでください。  
 \* 壁・天井を傷つけたり、サビの発生原因となります。

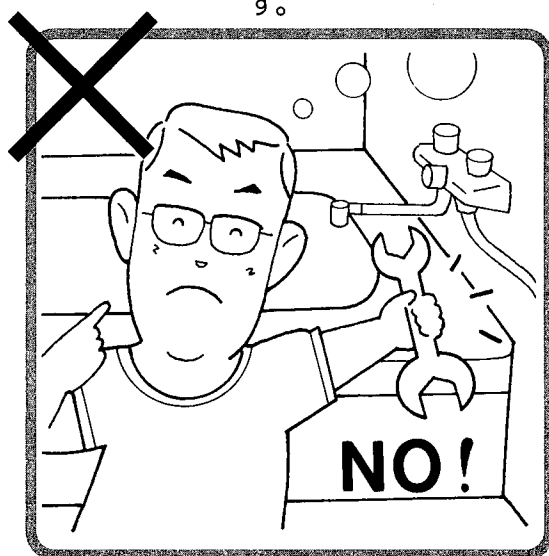
タバコなどの火気は、絶対に近づけないでください。  
 \* 破損や変色の原因となります。



穴開け、釘打ちやビス止めなどは、絶対にしないでください。  
 \* サビや水もれの原因となります。

**!** 注意 商品引き渡し後、器具の位置を変えたり、新しく取付ける場合は必ず販売店などにご相談ください。誤った取付けをすると、思わぬ事故や水もれの原因となります。

**!** 強制



C  
 お取付けの正しい方法をお願いします

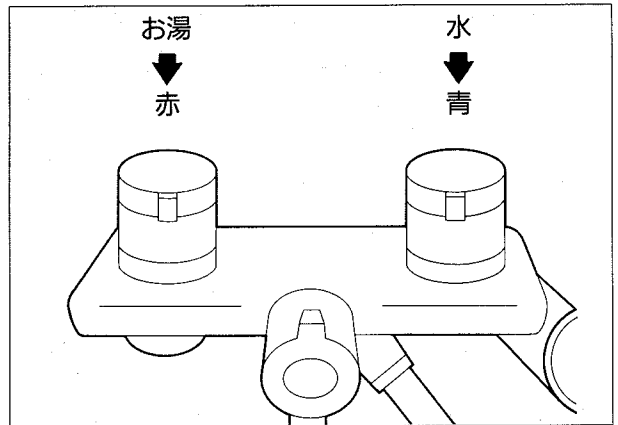
# c-4 混合水栓について

混合水栓を使用する際は、ヤケドをしないよう湯温を十分に確かめてください。  
過度の力を加えることや、ハンドル操作の急閉止は、おやめください。

※代表的な項目のみ説明しています。詳細については個別の使用説明書をご参照ください。

●ハンドルのお湯と水の区別は、ハンドル上部に表示されている(赤)がお湯、(青)が水です。

※(一部の水栓を除く)

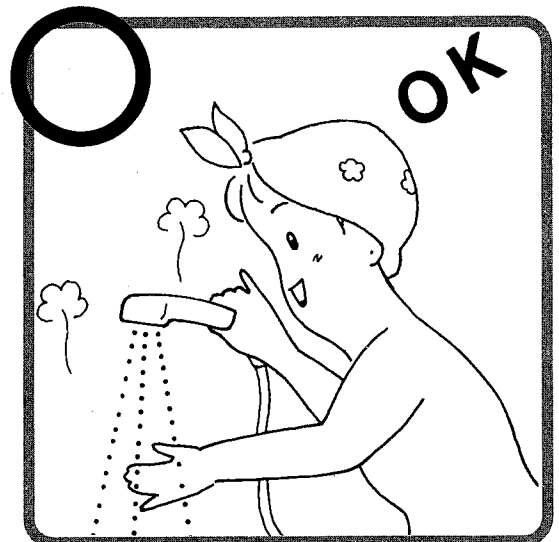


**注意** 出湯時や止水直後は、金属部に触れないでください。ヤケドをするおそれがあります。

**接触禁止**

**注意** 水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。

**高温注意** 高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。





**注意**

サーモ混合栓以外でシャワーをお使いの時は、他の水栓を使わないでください。



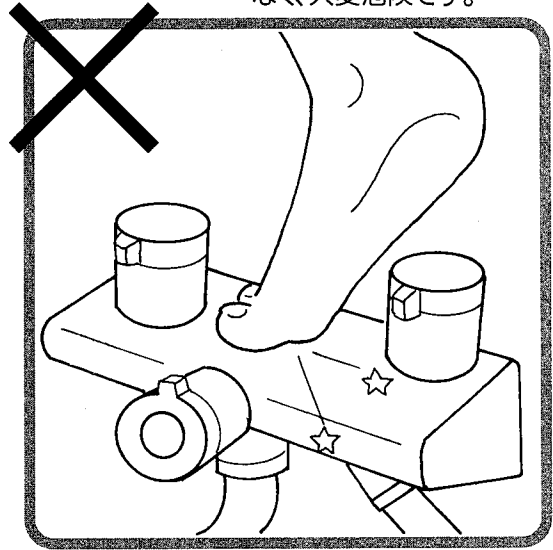
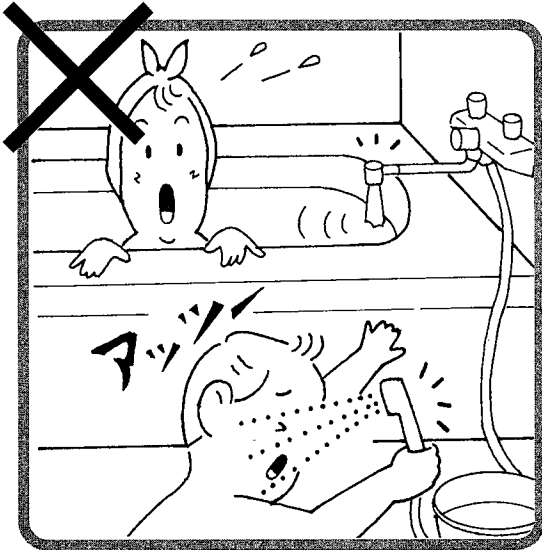
**高温注意**

湯温が急上昇して、ヤケドをするおそれがあります。

混合水栓の上には、絶対に乗らないでください。

また、無理にゆすったりしないでください。

\* 接合部分がゆるんで、水もれの原因となるばかりでなく、大変危険です。



**注意**

ハンドル操作の急閉止は、おやめください。



**禁止**

配管から水もれを起こし、家財などをぬらすおそれがあります。



**注意**

凍結が予想される時は水抜きをしてください。



**強制**

凍結破損で水もれし、家財などをぬらすおそれがあります。



C お取扱いに関する注意とお願い

## C-4 混合水栓について

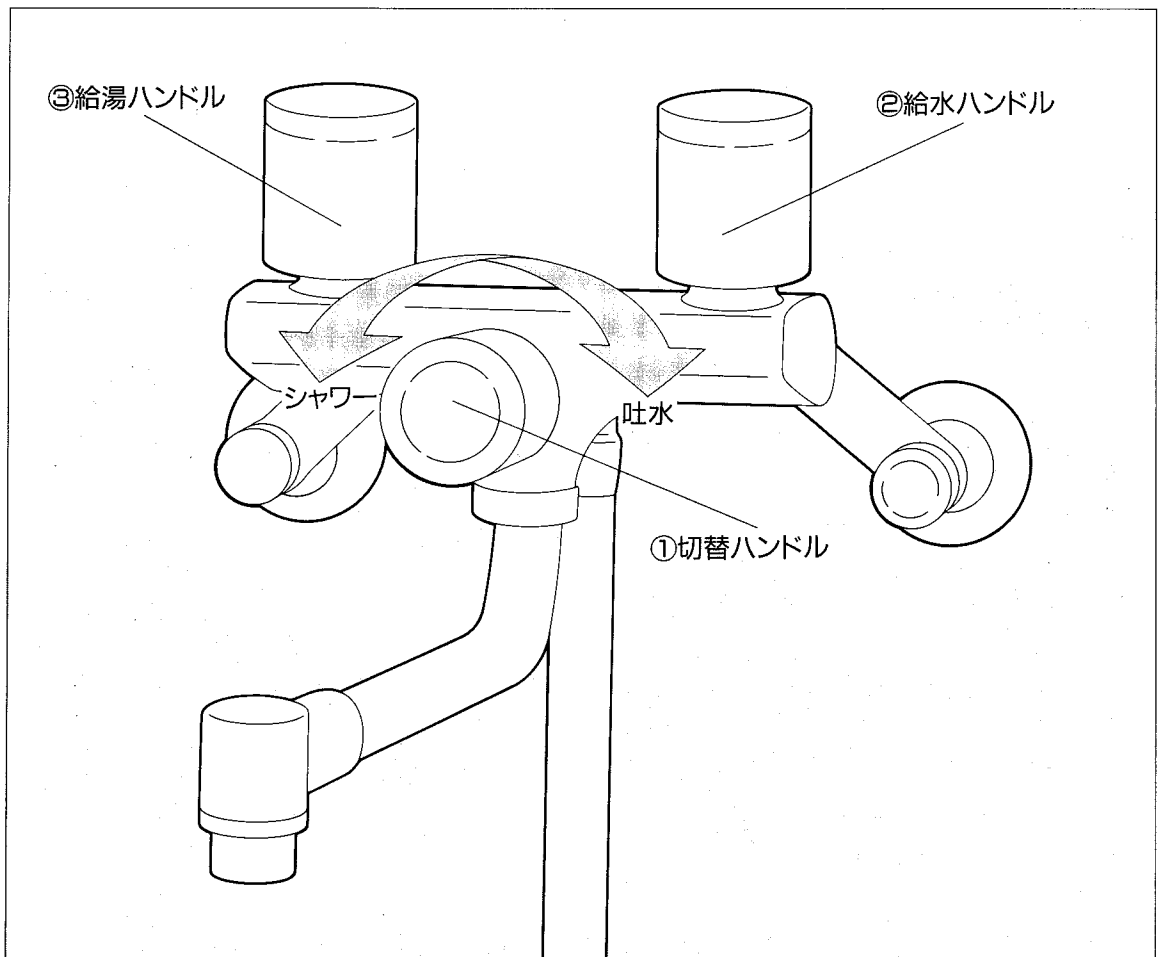
### ■ご使用方法

〈2ハンドルタイプの場合〉

#### 出す時

- ①切替ハンドルを「吐水側」にします。
- ②給水ハンドルを開いて、水を出します。
- ③給湯ハンドルをゆっくり回して、お好みの湯温に調節します。

\*「給湯ハンドル」から出すと、思わぬ熱い思いをしたり、ヤケドの危険もありますので、必ず「給水ハンドル」から開いてください。



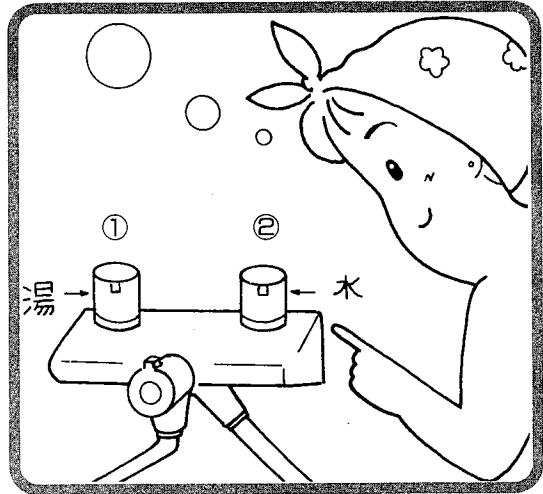
C

お取り扱いの際は、必ずお読みください。

## 止める時

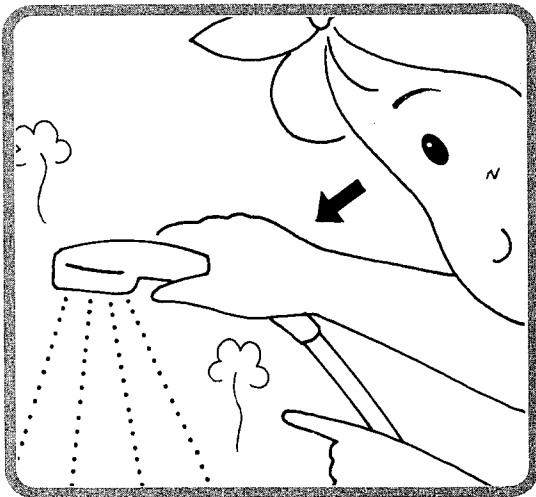
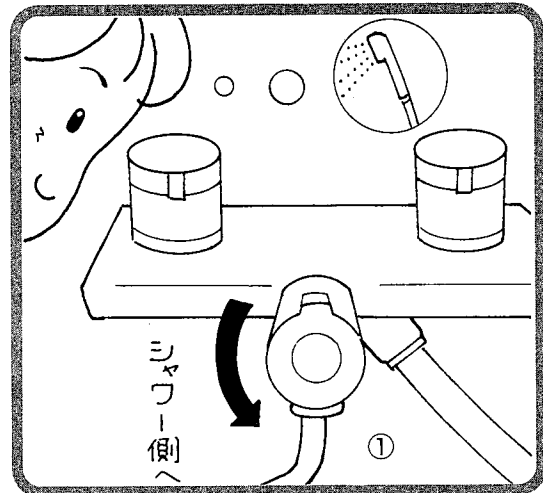
- ①給湯ハンドルを閉めて、お湯を止めます。
- ②給水ハンドルを閉めて、水を止めます。

\*必ず「給湯ハンドル」から閉めてください。水から止めると、思わぬ熱い思いをしたり、ヤケドの危険もあります。

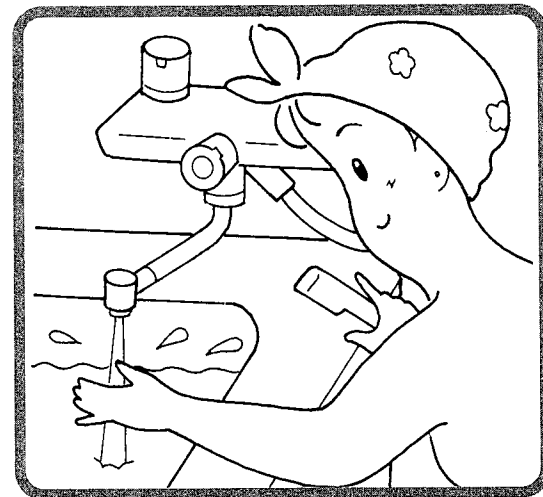


## シャワーへの切替

- ①切替ハンドルを「シャワー側」に切替てください。



\*最初に「熱い」または「ぬるい」お湯が出ますのでご注意ください。



\*吐水中にシャワーへ切替る時は、吐水側で適温を確認してから切替てください。

## C-4 混合水栓について

### ■ご使用方法

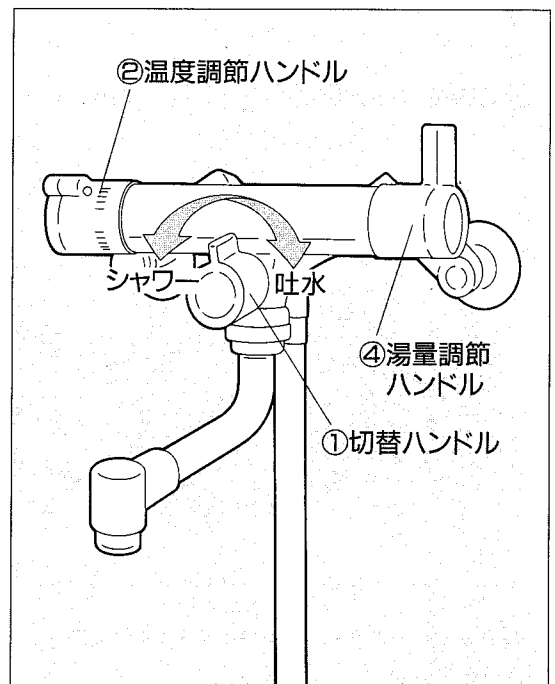
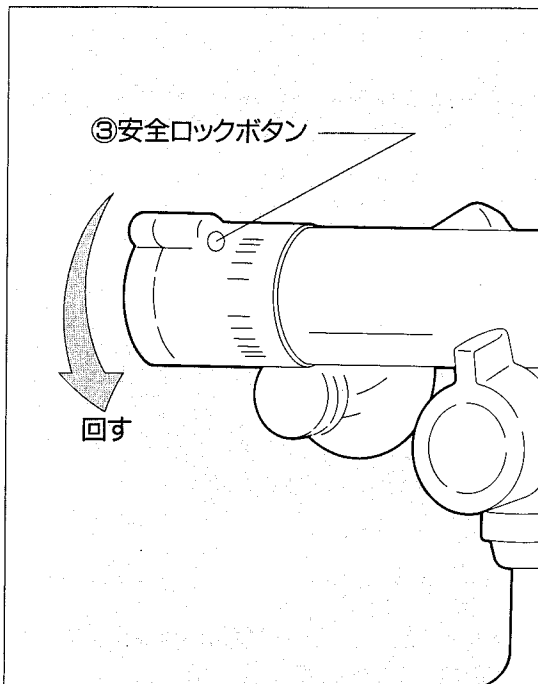
#### サーモスタットタイプの場合

##### 出す時

- ①切替ハンドルを「吐水側」にします。
- ②温度調節ハンドルを回して、40°Cを目安に調節します。  
\* お好みの温度の調節は、温度調節ハンドルの「安全ロックボタン」を押して温度調節ハンドルを動かしてください。
- ③設定温度に温度調節した後、必ず温度調節ハンドルの「安全ロックボタン」が図のように飛び出した状態になっているかを確認してください。  
(飛び出した状態がロックです)
- ④湯量調節ハンドルをゆっくり回して、お湯を出します。

##### 止める時

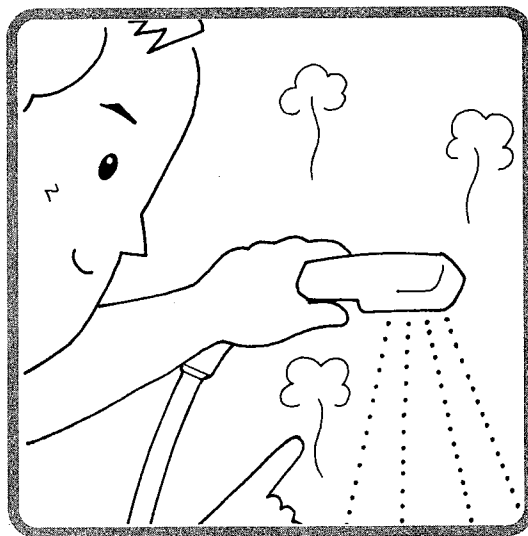
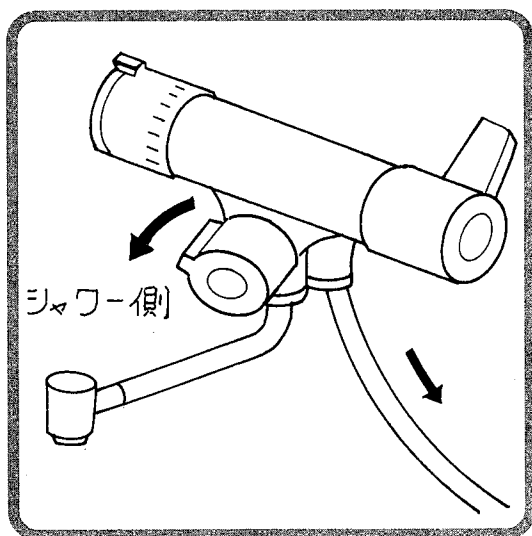
- ④湯量調節ハンドルをゆっくり回して、お湯を止めます。





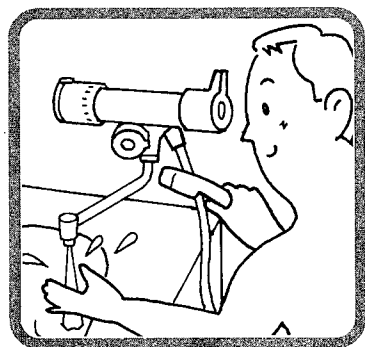
## シャワーへの切替

- ①切替ハンドルを「シャワー側」に切替てください。
- ②出す時は、(出す時)の①～④の順序で、お湯を出します。
- ③止める時は、湯量調節ハンドルをゆっくり回して止めてください。
- ④シャワー使用後は、必ず切替ハンドルを「吐水側」に戻しておいてください。

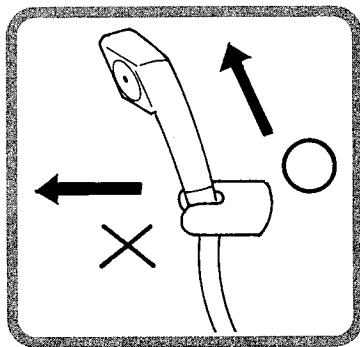


\*最初に「熱い」または「ぬるい」お湯が出ますのでご注意ください。

## シャワーのご使用について

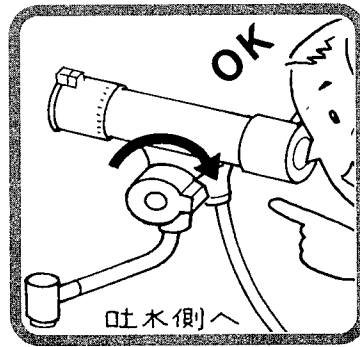


●必ず、吐水側でお湯の温度(適温)を確かめてから切替てください。



●シャワーヘッドの抜き取りは、差し込んである方向に抜いてください。

\*無理な抜き差しは、シャワーフックのがたつきや壊れてしまう原因となります。



●シャワー使用後は、必ず切替ハンドルを「吐水側」に戻しておいてください。

\*シャワー側のままですと、次に使用する時、お湯や水をかぶることがあります。

# c-5 ドアについて

ドアを開閉する際にはケガをしないよう十分に注意し、静かに開け閉めしてください。

●開き戸の場合



**注意**

ドアの急激な開閉はしないでください。



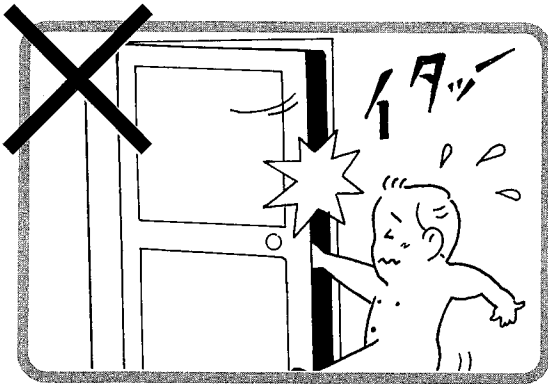
**禁止**

手や足をはさまれて、ケガをするおそれがあります。

●折り戸の場合

ドアの急激な開閉はしないでください。

手や足をはさまれて、ケガをするおそれがあります。ドアを開ける際には必ず水平方向に操作してください。

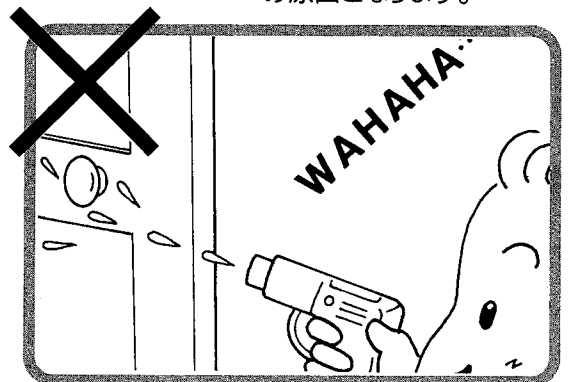
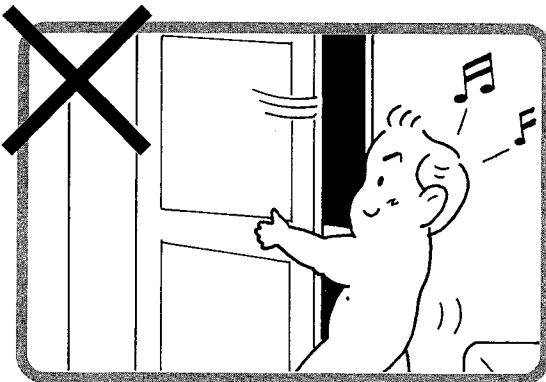


ドアノブには、絶対ぶらさがらないでください。

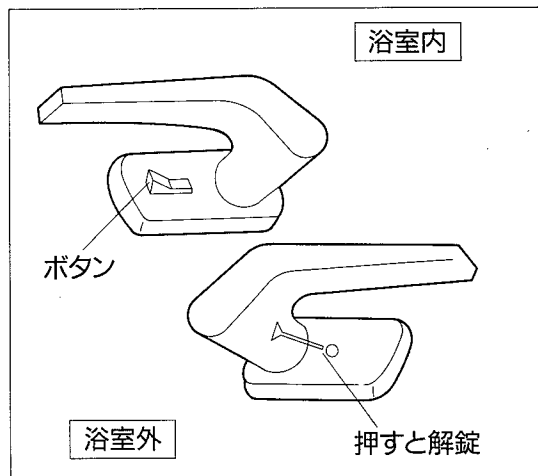
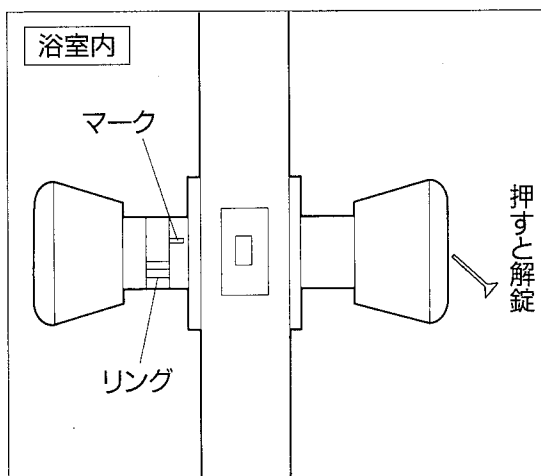
\*ぶらさがったり、重いものを掛けたりすると、ドアノブががたついたり、ケガをするおそれがあります。

ドアノブに、直接「水やお湯」をかけないでください。浴室外への水もれの原因となります。

\*ドアノブの中に水やお湯が入ると、中がサビて故障の原因となります。



## カギをかける場合



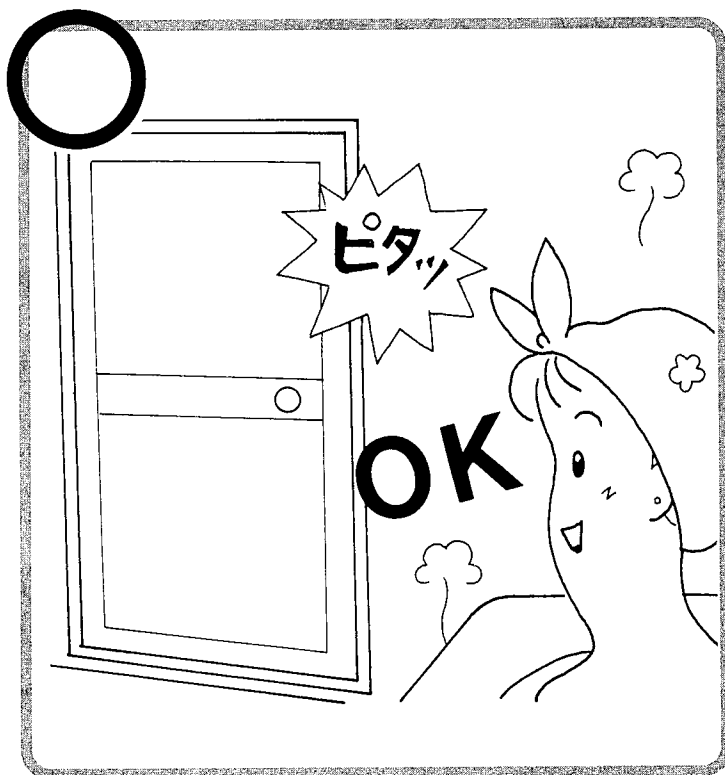
●図のドアノブの場合、浴室内のノブに付いている「リング」を取りはずし、マークを合わせてノブを押すと、カギがかかり、引くとカギが開きます。

●図のレバーハンドルの場合、浴室内のボタンを押すと、カギがかかり、再度押すと開きます。

\* 万一、浴室外からカギを開ける必要が起きた場合は、ノブの中心の穴(レバーハンドルの場合はレバー横の穴)に細い棒(釘など)を差し込んで押すと、カギは開きます。

●ドアはきちんと閉めてください。

\* ドアを開けたままにしておくと、外に湯気や湿気がもれ、他のお部屋が湿り気を帯びてしまうことがあります。



C

お取扱いただいた際の注意とお願ひ

# c-6

## 排水関係について

排水口には臭気止め機構(トラップ)がついております。  
排水トラップ内の封水切れにご注意ください。



**注意**

排水口にシンナーなどの溶剤や薬品類を流さないでください。

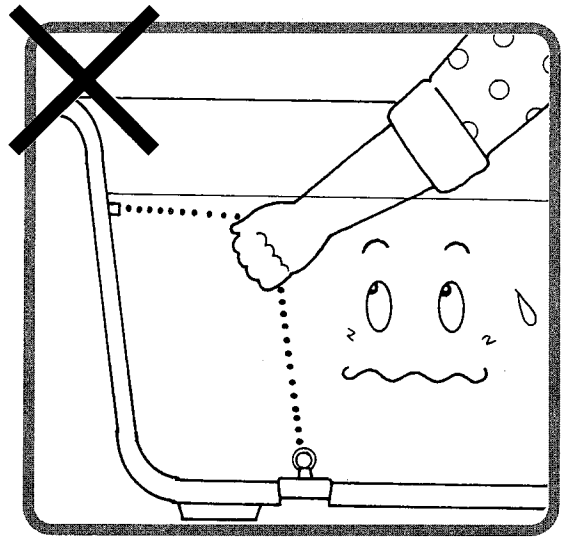


**禁止**

排水部分が損傷して水もれのおそれがあります。

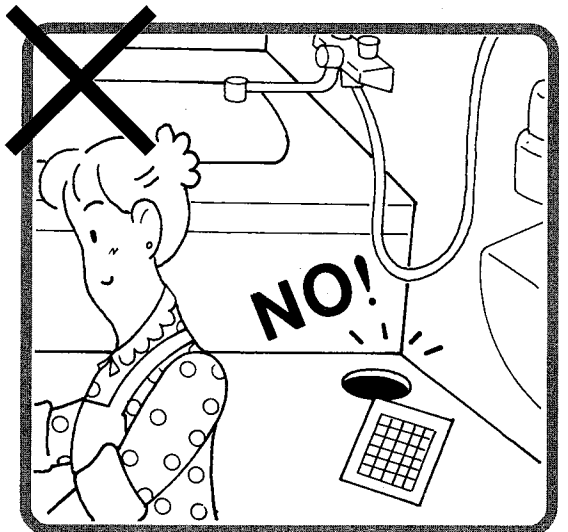
排水栓のチェーンを引っ張って、排水をしないでください。

\* 取付部がゆるんで水もれしたり、チェーンが切れたりします。



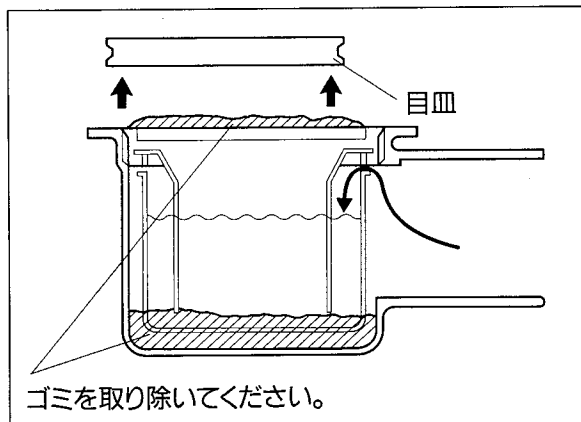
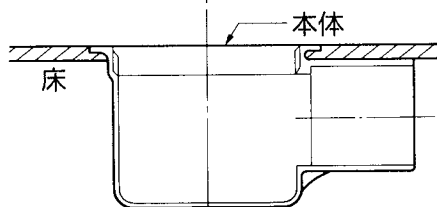
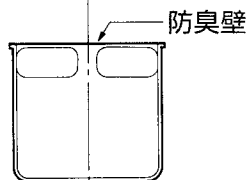
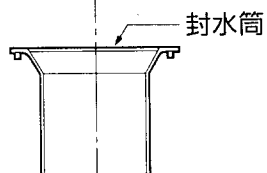
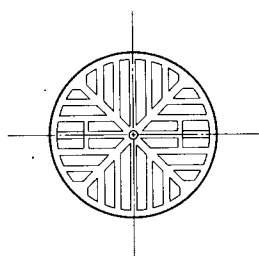
目皿をはずした状態でご使用にならないでください。

\* ゴミ、毛髪などが流れこみ、トラップ内や配水管内部が詰まって排水不能となることがあり、専門業者への依頼が必要となることもありますのでご注意ください。



## 排水トラップ

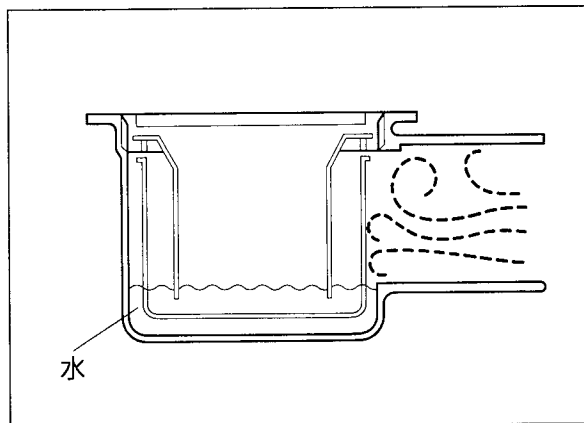
目皿模様



●排水トラップは、週1～2回必ず掃除してください。

\*排水トラップ内にゴミや毛髪などがつまると、排水能力が低下し、不衛生になるばかりでなく、水もれの原因となりますのでご注意ください。

\*排水トラップ内にゴミや毛髪などがつまった時は、すみやかに取り除いてください。



●排水トラップ内の封水切れにご注意ください。

\*排水トラップ内には、臭気や害虫を防ぐための水がたまっています。長期間ご使用にならない場合、この水が蒸発して、配水管内の悪臭や害虫の影響が出る場合があります。

\*長期間ご使用にならない場合は、排水口に粘着テープで目張りをしておくと、悪臭や害虫の影響を防ぐことができます。

C

お取扱いの注意とお読みください

# c-7 風呂フタについて

風呂フタがはずれると危険ですので、体重をかけたり、乗ったりしないでください。風呂フタは、必ず浴槽に合ったものをお使いになり、入浴されていない時は、浴槽に必ず風呂フタをしてください。



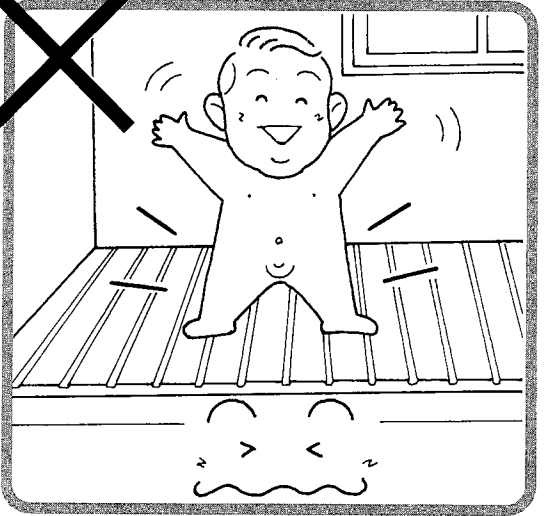
**警告**

風呂フタの上に体重をかけたり、乗ったりしないでください。フタがはずれたりして、ケガやヤケドをするおそれがあります。

\* 浴室内はすべりやすく、誤って浴槽に落ちる危険もありますので、特にお子様にはご注意ください。



**禁止**



**注意**

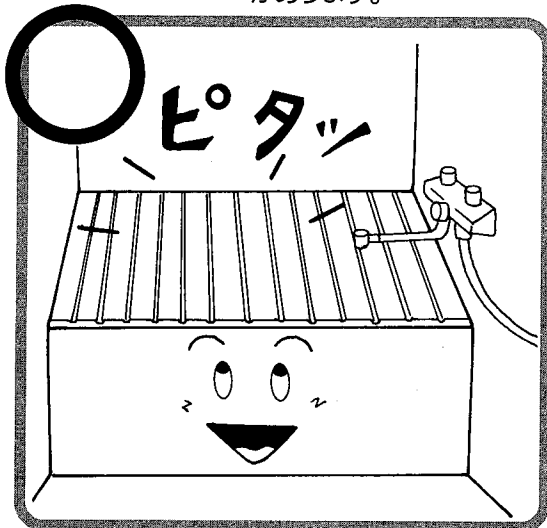
風呂フタは、必ず浴槽に合ったものをお使いください。(SG認定品もしくはメーカー指定のオプション部品)フタがはずれたりして、ケガやヤケドをするおそれがあります。



**強制**

入浴されていない時は、浴槽に必ず風呂フタをしてください。

\* 保温のため、湯気や湿気を防ぐため、必ず風呂フタをしてください。



# c-8

## タオル掛けについて

ビスがゆるんだり、タオル掛けががたついたりする原因となりますので、ぶらさがったり、強く引っ張ったりしないでください。



**注意**

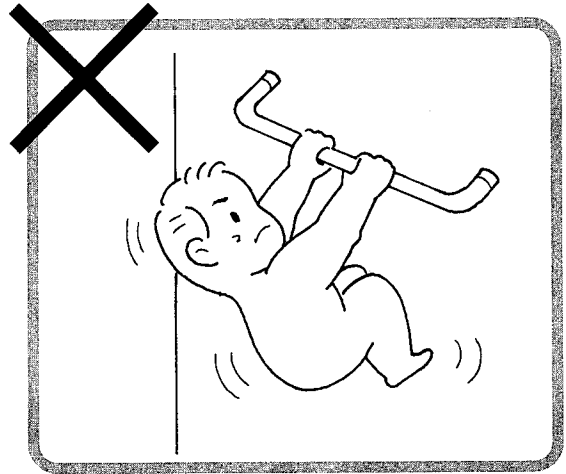
タオル掛けなどに、ぶらさがったり、強く引っ張ったりしないでください。



**禁止**

転倒などにより、ケガをするおそれがあります。

\*ビスがゆるんだり、タオル掛けががたついたりする原因となります。また、壁を傷めることにもつながります。



# c-9

## 照明器具について

グローブは確実に締めて、直接、「水やお湯」をかけないでください。照明器具にタオルなどを掛けたり、カバーをはずして使わないでください。



**警告**

照明器具にタオルなどを、掛けないでください。



**発火注意**

過熱して、火災になるおそれがあります。



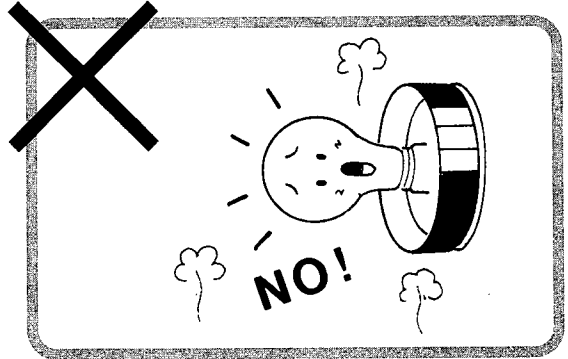
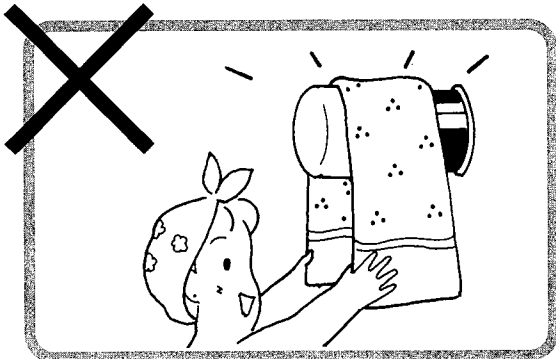
**警告**

照明器具のカバーをはずして使わないでください。



**感電注意**

感電したり、電球が割れてケガをするおそれがあります。



取扱説明書の注意を必ずお読みください。

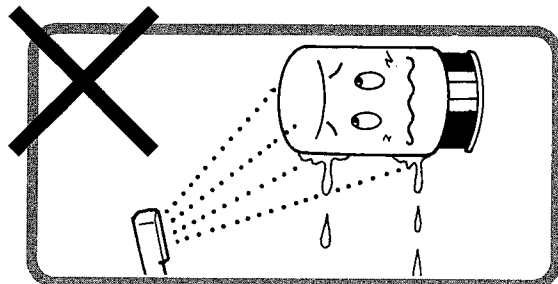
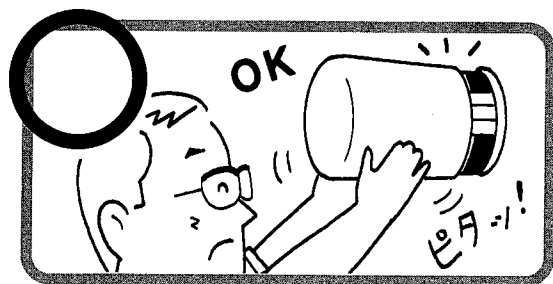
## c-9 照明器具について

グローブは確実に締めてください。

\*ゆるんだ状態でご使用になると、電球が割れたり、器具がサビたりする原因となります。

グローブに直接、「水やお湯」をかけないでください。

\*器具の寿命を短くするばかりでなく、大変危険です。

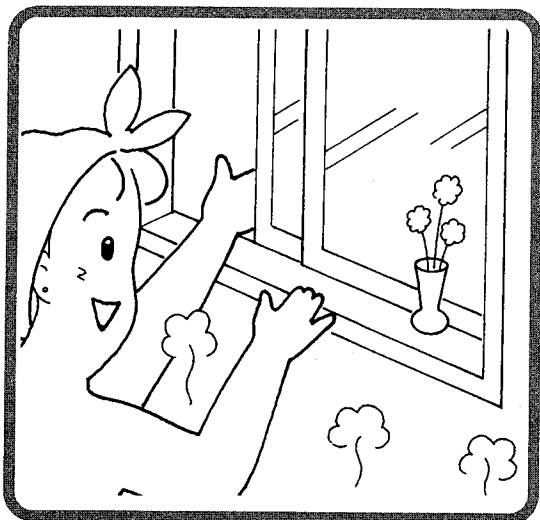


## c-10 換気について

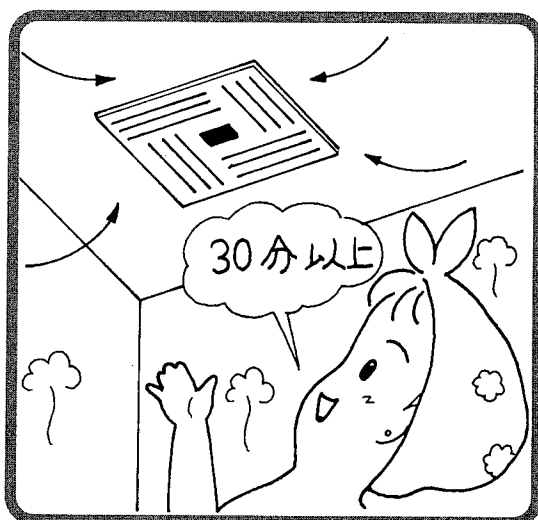
湯気、湿気のこもりは、悪臭やカビの原因となりますので、入浴後には、換気を充分に行なってください。  
換気する場合は、給気のための空気の流れを作ってください。

●入浴後には、換気を充分に行なってください。

①窓がある場合は、窓を開けて入浴後の換気を充分に行なってください。



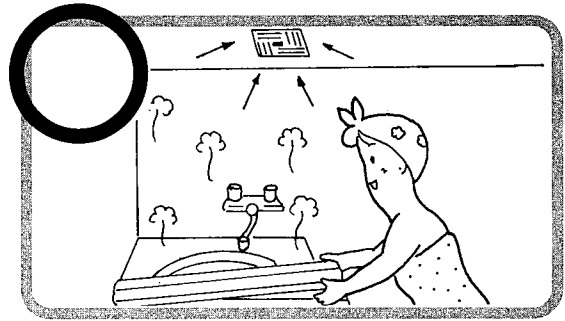
②換気扇が付いている場合は、入浴後30分以上は回して、換気してください。



\*湯気、湿気のこもったまま放置すると、悪臭やカビの原因となります。



- 入浴後、残り湯のある場合は、必ず風呂フタをしてから換気してください。

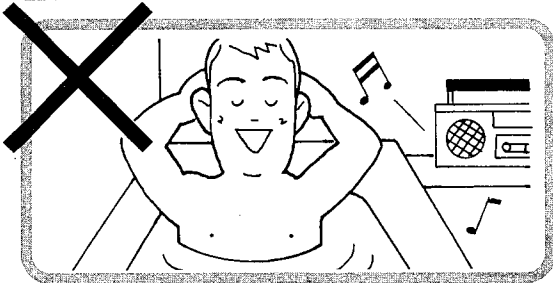


# c-11 その他

安全にご入浴いただくために、以下の説明をよくお読みください。  
付帯設備は、それぞれの商品に添付されている取扱説明書、及び本体の注意表示にそってお使いください。

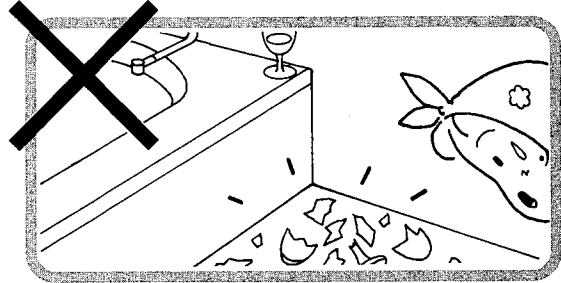
**警告** 浴室内に電気製品を持ち込まないでください。感電のおそれがあります。

**感電注意**



**注意** 浴室内にガラス製品など割れやすいものを、持ち込まないでください。

**禁止** 割れて、ケガをするおそれがあります。



**警告** 付帯設備は、それぞれの商品に添付されている取扱説明書、及び本体の注意表示にそってお使いください。誤った使い方をすると、思わぬ事故や故障の原因となります。

**強制**



- 浴槽、洗い場、ドア、壁、天井、便座、樹脂製トラップ、ニッチパネル、水栓金具などに、下記のを流したり付着させると、変色したり、腐食したりしますので、流さないでください。万一、流してしまった時は、すぐに多量の水で洗い流してください。

シンナー、アセトン、ベンジン、塩酸などの溶剤、塗料、マニキュア、リムーバー、メイクアップクレンジング、インク、毛染剤、ヨードチンキ、ヘアートニック、漂白剤、現像液など。

C  
も取扱いに当たっての注意とお願い

# c-12

## 洗面台について

水栓は、必ず湯温を確かめてお使いになり、出湯時や止水直後は、金属部に触れないでください。  
水栓、洗面台の上には絶対に乗らず、ハンドル操作の急閉止はおやめください。

水栓は、必ず湯温を確かめてお使いください。  
高温の湯が出て、ヤケドをするおそれがあります。

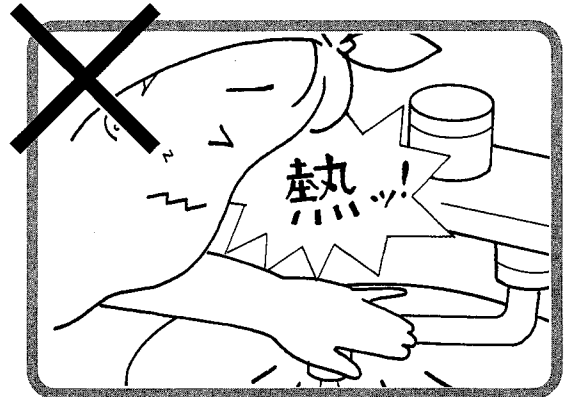
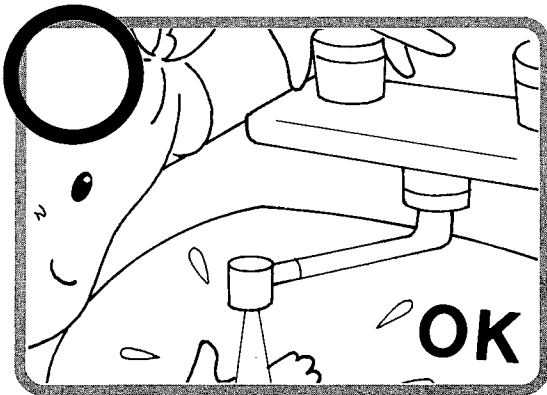


**注意**

出湯時や止水直後は、金属部に触れないでください。  
ヤケドをするおそれがあります。



**接触禁止**



水栓、洗面台の上には、絶対に乗らないでください。また、無理にゆすったりしないでください。  
\* 接合部分がゆるんで、水もれの原因となるばかりでなく、大変危険です。



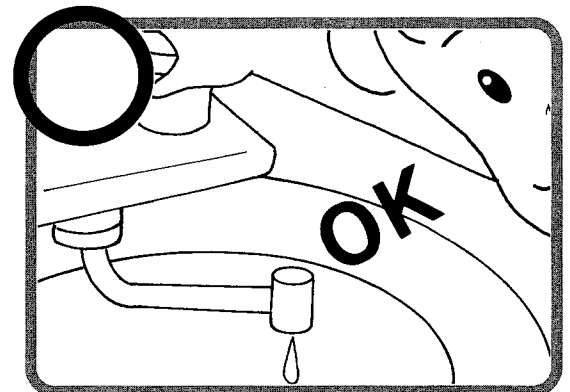
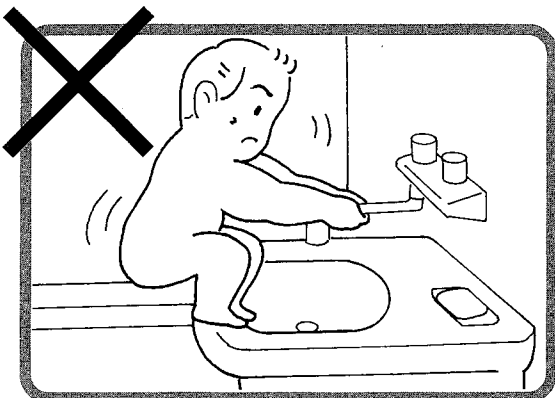
**注意**

凍結が予想される時は水抜きをしてください。



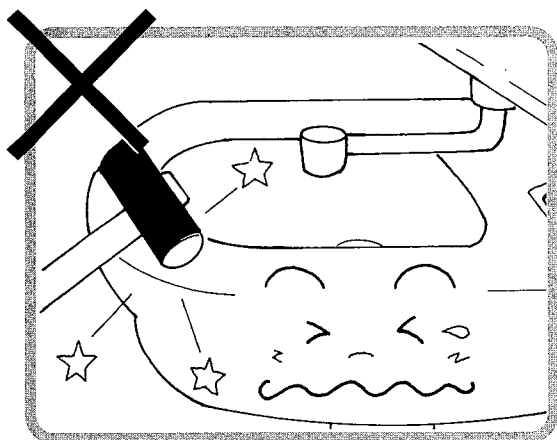
**強制**

凍結破損で水もれし、家財などをぬらすおそれがあります。

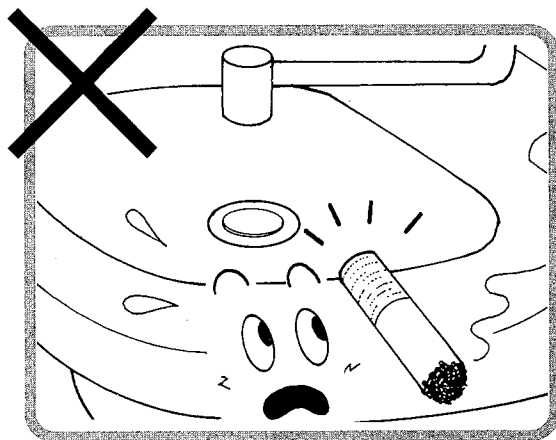


お取扱説明書の注意事項をよく読んでください

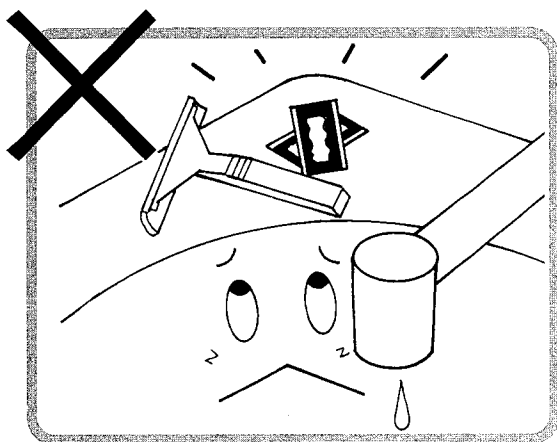
重いものを落としたり、硬いものでたたいたり、こすったりしないでください。  
\* 台にクラックが発生したり、破損の原因となります。



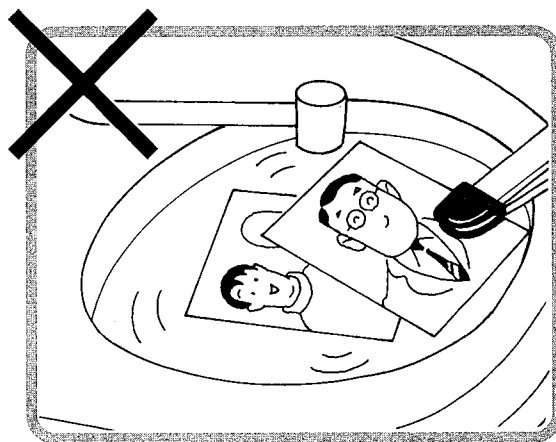
タバコなどの火気は、絶対に近づけないでください。  
\* 変色したり、台の寿命を縮める原因となります。



ヘアピン、カミソリ刃などを置いたままにしないでください。  
\* サビが付着して取れなくなる場合があります。



洗い場での写真の現像や、毛染めはしないでください。  
\* 変色や腐食の原因となります。



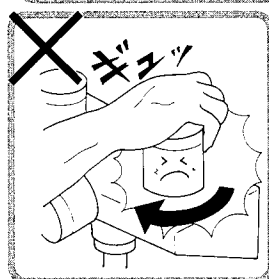
**注意**

ハンドル操作の急閉止は、おやめください。



**禁止**

配管から水もれを起こし、家財などをぬらすおそれがあります。



# c-13

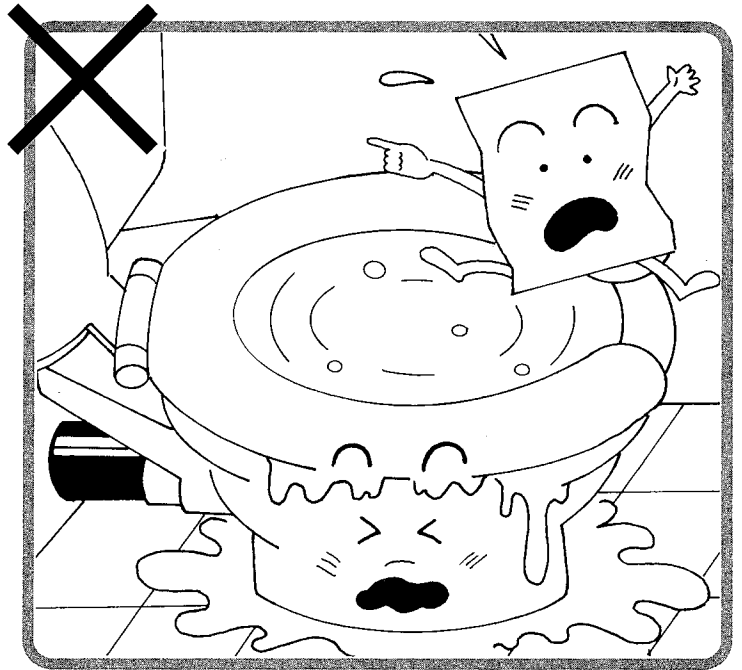
## トイレについて

トイレには、トイレットペーパー以外の異物を、流さないでください。  
 便器が破損するおそれがありますので、便座やフタの急激な開閉はしないでください。

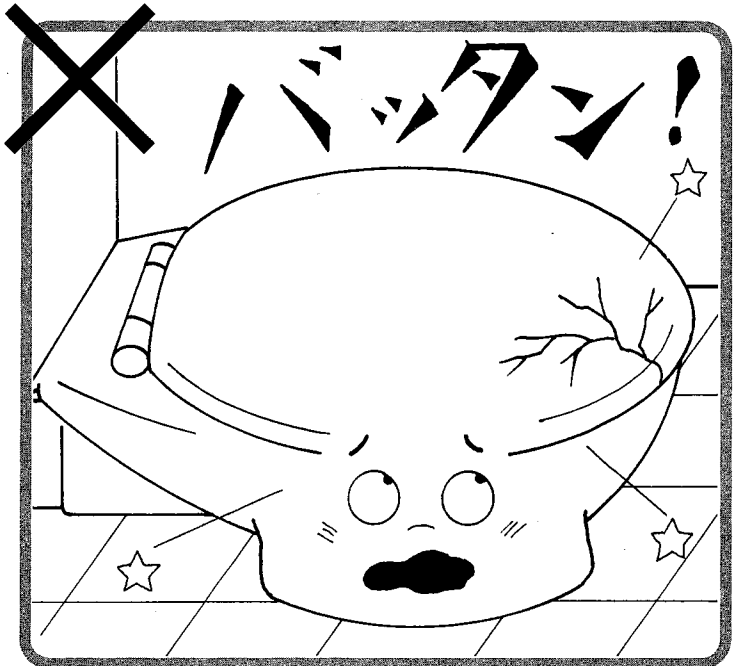
⚠ 注意

🚫 禁止

トイレットペーパー以外の異物を、  
 流さないでください。  
 配管がつまり、水もれを起こし家財  
 などをぬらすおそれがあります。

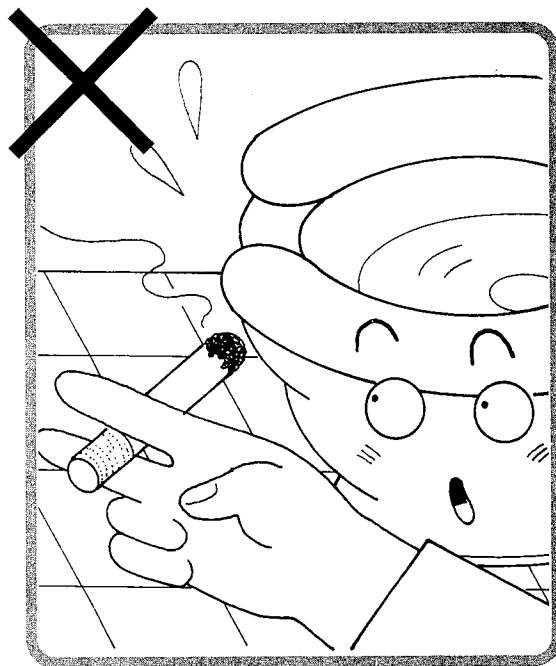


便座やフタの急激な開閉はしないで  
 ください。  
 便器が破損するおそれがあります。

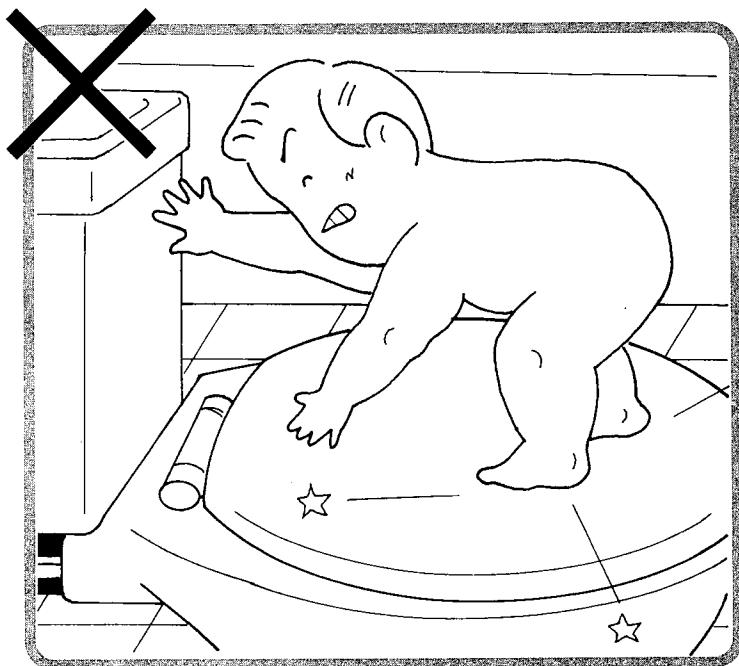


重いものを落としたり、硬いものでたたいたり、こすったりしないでください。  
\*クラックが発生したり、破損の原因となります。

タバコなどの火気は、絶対に近づけないでください。  
\*変色したり、便器の寿命を縮める原因となります。



便座、便器の上には、絶対に立ち上がらないでください。  
また、無理にゆすったりしないでください。  
\* 接合部分がゆるんで、水もれの原因となるばかりでなく、大変危険です。



# お手入れ方法とご注意

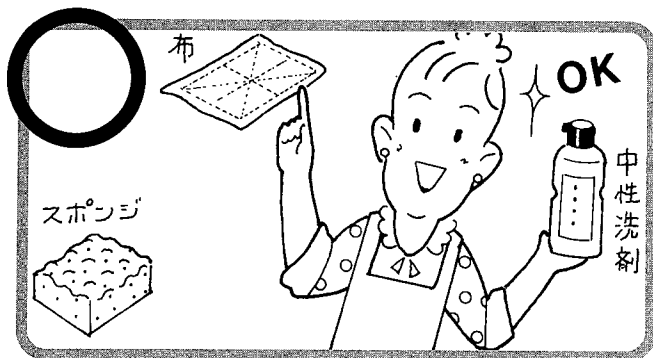


**注意**

掃除をする時は、必ず浴室用中性洗剤を容器に表示されている注意書きにしたがい正しくお使いください。使い方を誤ると、人体に影響が出たり、本体に不具合を生じるおそれがあります。



**強制**



**注意**

電球の交換や換気扇の掃除をする時は、必ず安定した踏み台をお使いください。



**強制**

バランスをくずして転倒し、ケガをするおそれがあります。



**D**

お手入れ方法とご注意

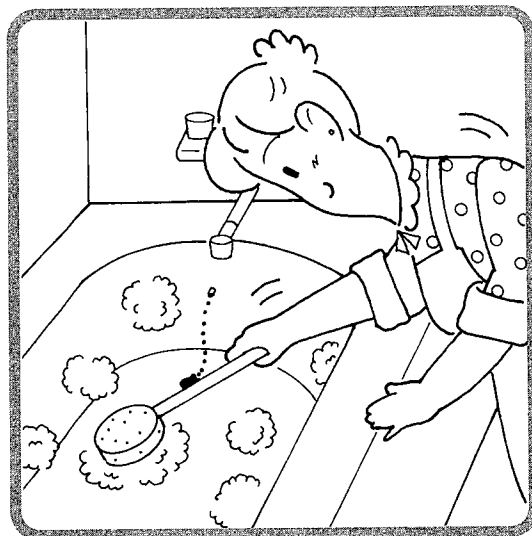
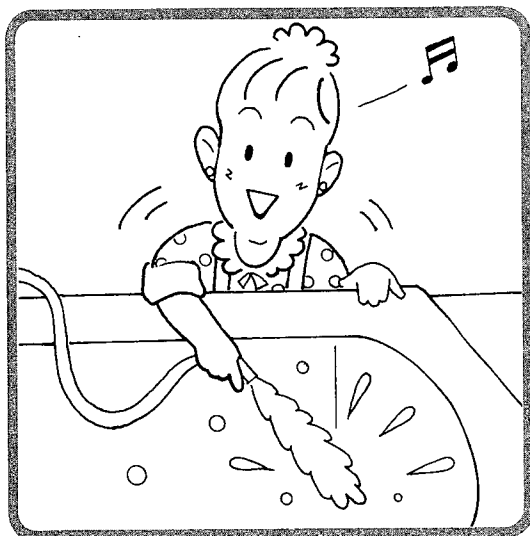
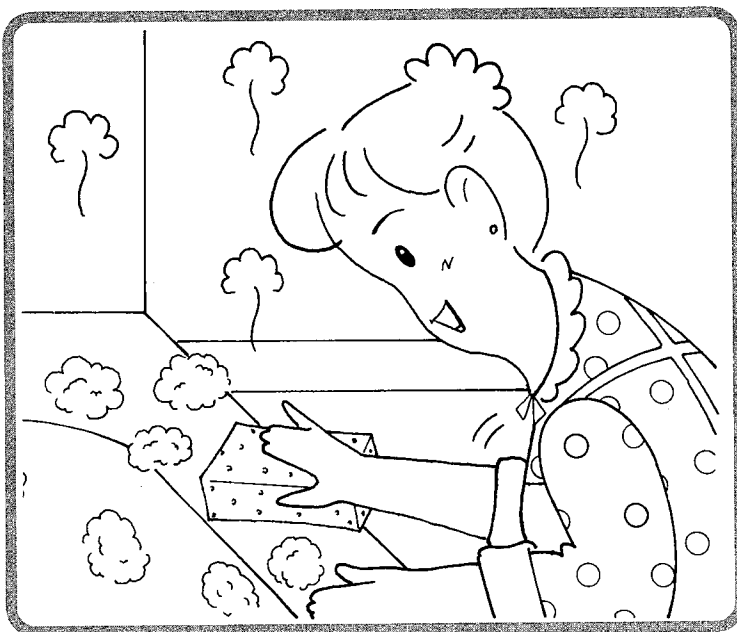
# D-1

## 浴槽・床のお手入れについて

浴槽・床を清潔に保つために、以下の説明をよくお読みください。  
お手入れは、入浴後、その日のうちに行なってください。

●入浴後、その日のうちにお掃除してください。

\*浴槽や床面の湯アカは、乾いてからでは落ちにくくなりますので、入浴後に洗い落とすようにしてください。



●据置式の浴槽の下は、ホースを使い、水の勢いで汚れを流すか、市販の柄付スポンジを使ってお掃除してください。

\*浴槽の下は、湯アカや毛髪などのたまりやすいところです。週に2～3回はお掃除してください。

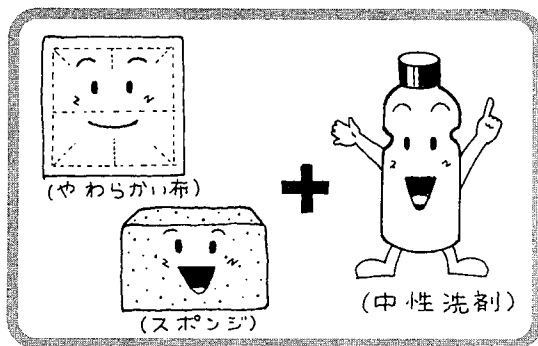
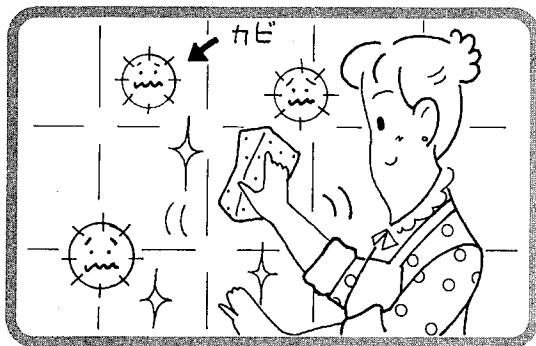
D

お手入れ方法とご注意

# D-2

## 目地のお手入れについて

目地のお手入れはカビ予防のため、以下の説明をよくお読みください。  
お手入れは、以下の説明通り、週1回は行なってください。



●週1回は、目地の汚れを拭きとってカビの予防をしてください。

\*床、壁、天井などの接合部にはめこまれている目地(コーキング)を、やわらかい布かスポンジに中性洗剤をつけて拭き取ってください。(放置しておくとかビの発生原因となります)

目地を傷つけたり、取りはずしたりしないでください。



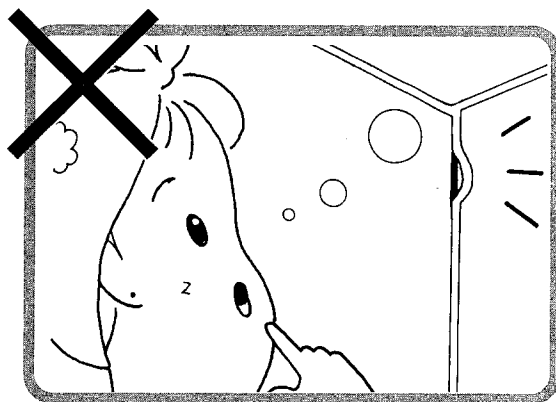
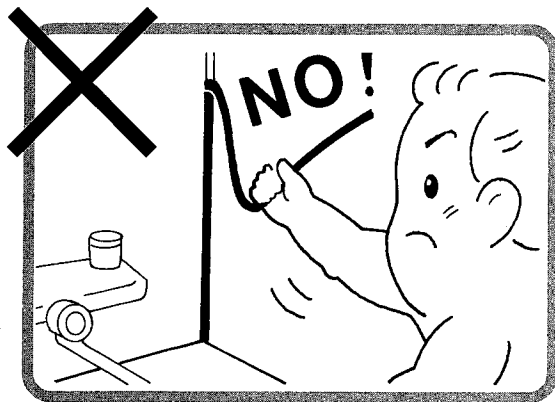
**注意**

目地(コーキング)が切れたり、浮いたまま使用しないでください。



**禁止**

水もれのおそれがあります。



\*目地やパッキン類は、防水性能上大切な役目を持っていますので、傷つけたり、取りはずしたりしないでください。

\*目地やパッキンを損傷した場合は、早めに販売店か施工工事店、または、最寄りの弊社各営業所にご相談ください。

**D**

お手入れ方法とご注意



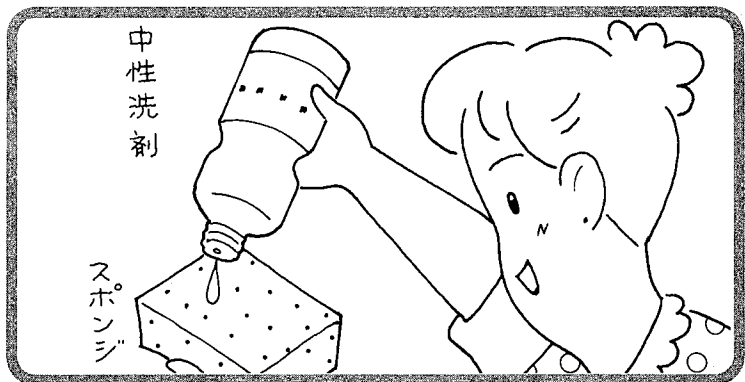
## D-3

# 壁・天井・ドアのお手入れについて

壁・天井・ドアをきれいに保つため、以下の説明をよくお読みください。  
お手入れは、以下の説明通り、週に1回は行なってください。

●週1回は、汚れを拭きとってください。

\*やわらかい布かスポンジに中性洗剤をつけて、水分、湯アカ、ホコリを拭き取ってください。



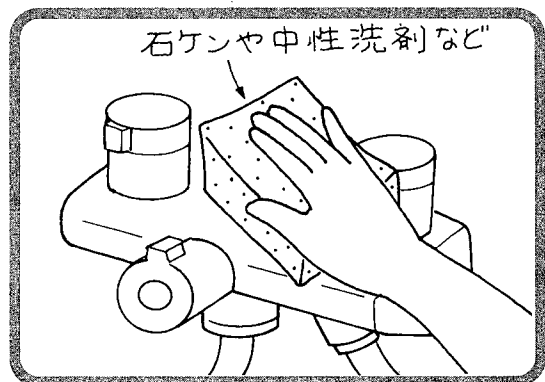
## D-4

# 水栓・カガミ類のお手入れについて

水栓・カガミ類の美しい光沢を保つために、以下の説明をよくお読みください。  
カガミに湯アカや汚れを付着したままにしておきますと落ちなくなる場合があります。



●乾いたやわらかい布で水分を拭き取り、時々ミシン油などを浸した布で拭きますと、美しい光沢を保ちます。



●油類が付着した場合は、石けんや中性洗剤で洗い落とした後、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。

\*万一、損傷させてしまった場合は、程度によって専門業者が必要となります。  
早めに販売店か施工工事店、または、最寄りの弊社各営業所にご相談ください。

D

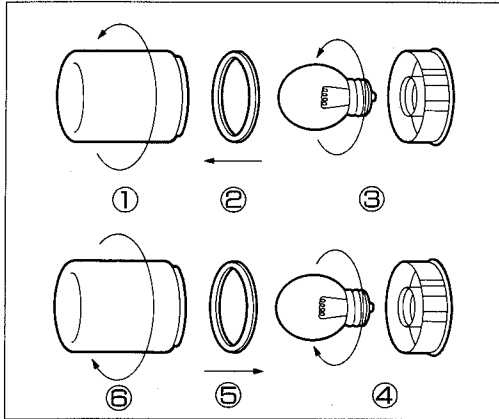
お手入れ方法とご注意

# D-5

## 照明の交換について

照明の交換作業を安全に行なうために、以下の説明をよくお読みください。  
照明の交換は、必ず電源を切ってから、手順にしたがって行なってください。

### ①白熱灯の場合

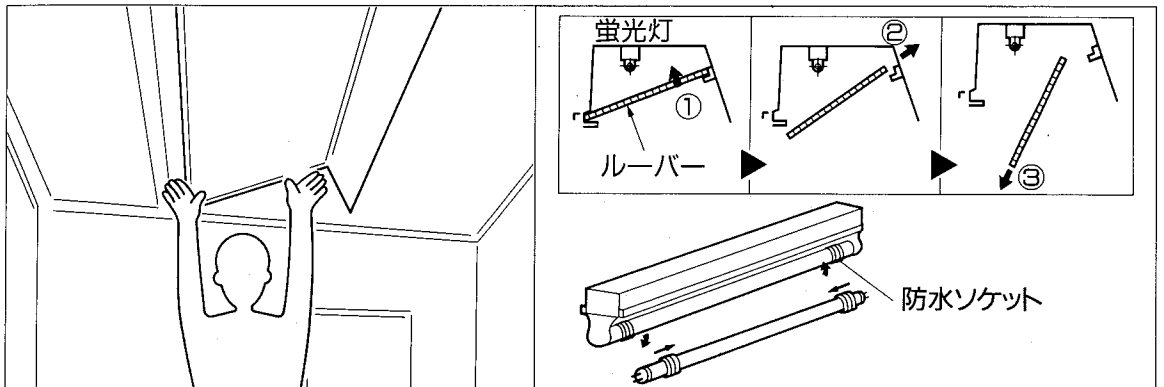


●電球が切れた場合は、下記の手順で交換してください。

- ①スイッチを切ってください。
- ②グローブを時計の針と反対方向に回し、パッキンといっしょにはずしてください。
- ③電球も同じ要領ではずしてください。
- ④新しい電球を時計の針と同じ方向に回して取付けてください。
- ⑤パッキンを台座にキッチリと差し込んでください。
- ⑥グローブを時計の針と同じ方向に回して取付けて完了です。

※電球は60Wのものをご使用ください。

### ②ボックス型天井の場合



●照明の交換について

照明が切れた場合は、下記の手順で交換してください。

- ①スイッチを切ってください。
- ②安定した踏み台を用意します。
- ③その上に乗りルーバーの上の方を持ち上げ、スライドさせて取りはずします。
- ④防水ソケットを時計の針と反対方向に回しスライドさせて、蛍光灯をはずします。

⑤新しい蛍光灯に防水ソケットを差し込みます。  
(この際、防水ソケットの中にパッキンがあるかどうか、確認してください)

⑥新しい蛍光灯を取付け、ソケットを時計の針と同じ方向に回して、しっかりと締め付けます。

⑦ルーバーを元の位置に戻します。(この際、ルーバーが止め金具にしっかりと固定されていることを、確認してください)。

※蛍光灯は40Wのものをご使用ください。

D

お手入れ方法とご注意

※交換の際のご注意



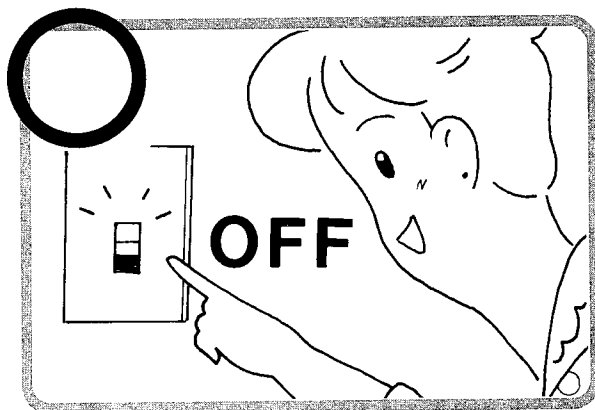
警告

照明を交換する場合は、必ず電源を切ってから行なってください。



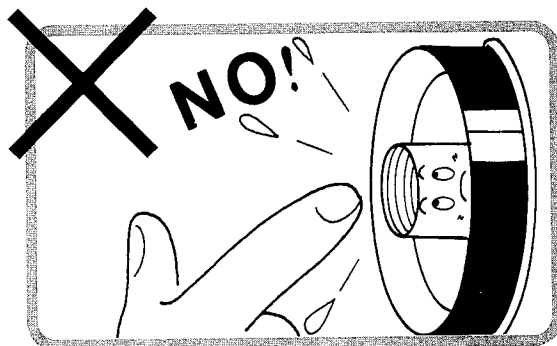
感電注意

感電やケガをするおそれがあります。



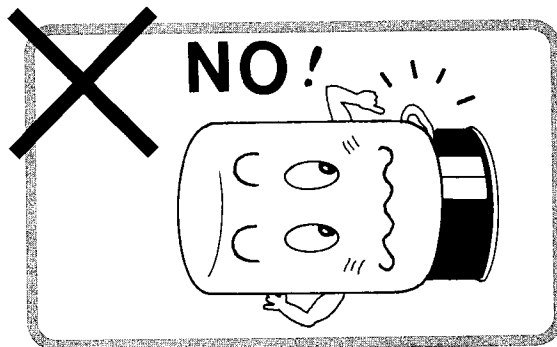
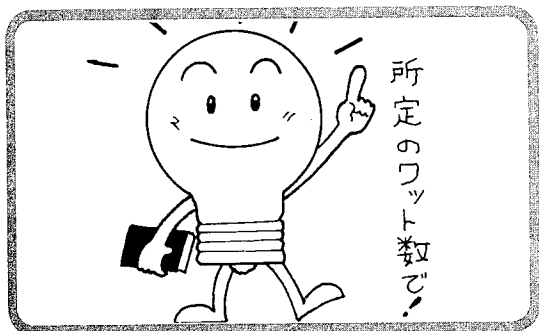
ぬれた手で、絶対に作業しないでください。

ソケットに指を差し込んだり、直接触れないようにしてください。



交換する電球は、所定のワット数のものをご使用ください。

パッキンを付け忘れたり、はみ出したり、ねじれたりしないようにしてください。(パッキンは、グローブ内に湿気を入れない役目をしている大切な部品です)。



**D**

お手入れ方法とご注意

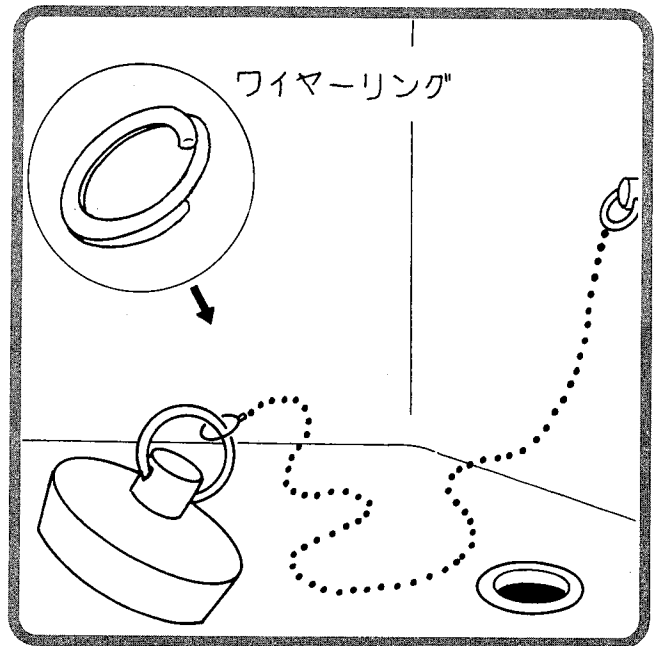
# D-6

## 排水栓の交換について

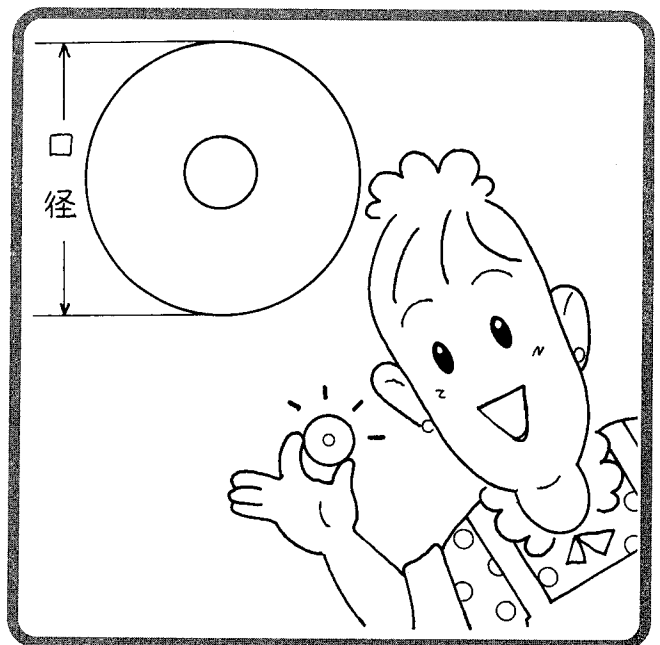
排水栓の交換は、水もれや空焚き等を防ぐために、以下の説明をよくお読みください。  
排水栓をお買換えの際は、必ず口径の同じものをお求めください。

●排水栓、クサリの具合が悪くなった時は、市販されているものと交換するか最寄りの当社販売店にてお求めください。

\*交換は、ワイヤーリング部分で簡単に行なえます。



\*排水栓をお買換えの際は、取りはずしたものをご持参になって必ず口径の同じものをお求めください。



# D-7

## 洗面台のお手入れについて

洗面台の清潔を保つために、以下の説明をよくお読みください。  
必ず中性洗剤を正しくお使いになり、週1回は、掃除をしてください。



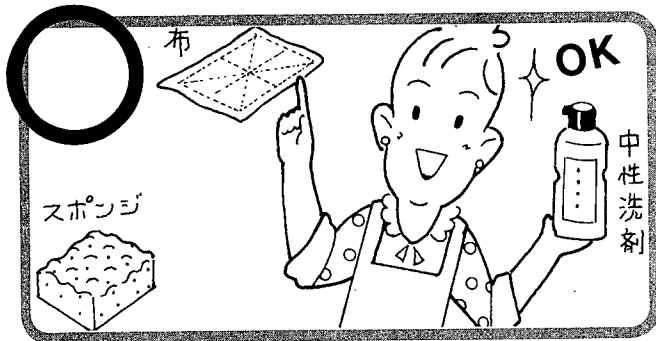
### 注意

掃除をする時は、必ず中性洗剤を容器に表示されている注意書きにしたがい正しくお使いください。



### 強制

使い方を誤ると、人体に影響が出たり、本体に不具合を生じるおそれがあります。



○お手入れにご使用いただきたいもの

- やわらかい布かスポンジ
- 中性洗剤

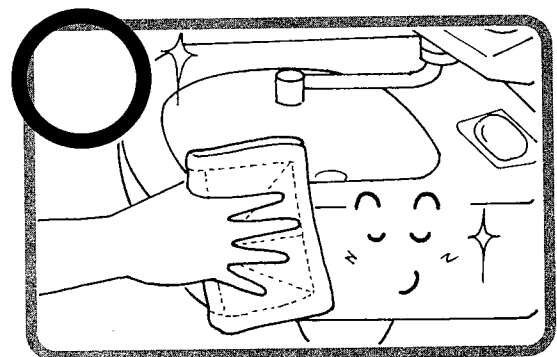


×お手入れに使ってはいけないもの

- 亀の子タワシ、ナイロンタワシなどの硬いもの及びサンドペーパー
- ミガキ粉、クレンザーやシンナー、ベンジン、アセトン、塩酸などの溶剤
- 中性洗剤以外の洗剤

週1回は、汚れを拭きとってください。

\*やわらかい布かスポンジに中性洗剤をつけて、水分、湯アカ、ホコリを拭きとってください。



# D-8

# トイレのお手入れについて

トイレを清潔に保つために、以下の説明をよくお読みください。  
必ずトイレ用中性洗剤を正しくお使いになり、汚れたらこまめに掃除をしてください。

汚れたらこまめに、汚れを拭きとってください。  
放置しておくと汚れが付着して取れなくなる場合があります。

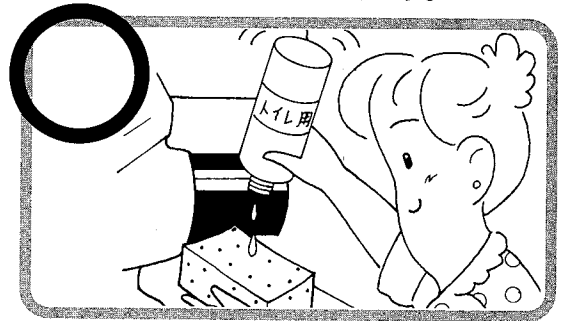
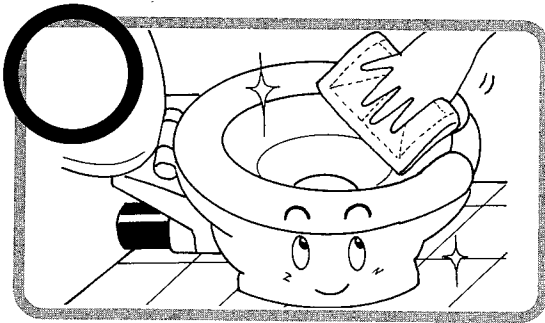


**注意**

トイレ付ユニットの場合、トイレ用洗剤は便器(陶器部分)以外には使用しないでください。他の部分に使用すると、不具合を生じるおそれがあります。



**禁止**



**注意**

掃除をする時は、必ずトイレ用中性洗剤を容器に表示されている注意書きにしたがい正しくお使いください。

使い方を誤ると、人体に影響が出たり、本体に不具合を生じるおそれがあります。



**強制**



○お手入れにご使用いただきたいもの

- トイレ用汚れ取りスポンジ
- やわらかい布かスポンジ
- トイレ用中性洗剤

×お手入れに使ってはいけないもの

- 亀の子タワシ、ナイロンタワシなどの硬いもの及びサンドペーパー
- ミガキ粉、クレンザーやシンナー、ベンジン、アセトン、塩酸などの溶剤
- トイレ用中性洗剤以外の洗剤

# アフターサービスについて

## E-1 アフターサービスのお問い合わせ

保証期間経過後の修理など、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、施工工事店または最寄りの弊社各営業所(裏面の営業所一覧を参照)へお問い合わせください。

## E-2 定期点検のおすすめ(有料)

ユニットバスを長く、より良い状態でお使いいただくために、定期点検をおすすめします。

●定期点検の期間と回数—————2年に1回

●定期点検の内容

- 浴室本体の状況
- 排水トラップ内のヨゴレとつまり状況
- 水栓器具の性能
- 目地、パッキンの状況と防水性
- 器具取付け部の状況と防水性
- ドアの開閉状況と性能
- その他

\*保証期間中であっても、点検時に消耗部品(リング、パッキンなど)の交換が必要な場合は、有料となりますので、あらかじめご了承ください。

循環温水器(24時間風呂)について  
「循環温水器」をご使用になりますと、浴槽の表面の変化や変色など、浴槽の劣化が早まる可能性があります。  
当社商品の場合、24時間風呂に対応できる機種は限定されていますので、販売店にお確かめください。

